

ワークショップの実施報告

目 次

1. 町民ワークショップの目的.....	1
2. 開催日程	1
3. 町民ワークショップの概要（全体）	2
4. 町民ワークショップの内容.....	3
4－1 第1回まちづくりワークショップ	3
4－2 中学生ワークショップ（第1回）	30
4－3 中学生ワークショップ（第2回）	59
4－4 第2回まちづくりワークショップ	75
4－5 第3回まちづくりワークショップ	100

1. 目的

- ◇本ワークショップは、第 5 次利根町総合振興計画後期基本計画の策定にあたり、町民の中から参加者を募集して「町民ワークショップ」を開催し、今後の町のまちづくりに関する意見をうかがい、計画策定のための資料とすることを目的に実施したものである。
- ◇実施にあたっては、町民対象の「まちづくりワークショップ」3 回と中学生対象のワークショップ 2 回について、各回テーマを持たせつつ、全 5 回共通のテーマを「20 年後の利根町を考える」として関連させながら一つの成果を生み出す連続型のワークショップを行った。
- ◇「20 年後の利根町」については、ただ漠然とした未来のまちについて考えるのではなく、実際の利根町の将来の人口予測や起こり得る課題等を踏まえながら、未来で暮らす利根町の人々が、どのように暮らしているのか、それを実現するためにすべきことは何かを考えた。
- ◇ワークショップの結果は、人口対策を踏まえて未来の利根町に向けて必要なこと（＝戦略的な施策）を考えることから、人口減少対策を強化する総合戦略の中で未来で暮らす人々のストーリーとして生かすこととする。

2. 開催日程

WS		開催日	時間	会場	町民	参加者数		ECO
						中学生	町	
まちづくり	第 1 回	令和 5 年 11 月 18 日 (土)	9 時半～ 12 時	利根町図書館	21	－	5	5
中学生	第 1 回	令和 6 年 1 月 22 日 (月)	5.6 限目	利根中学校	－	112	5	5
中学生	第 2 回	令和 6 年 1 月 29 日 (月)	5 限目	利根中学校	－	112	5	5
まちづくり	第 2 回	令和 6 年 2 月 17 日 (土)	9 時半～ 12 時	利根町図書館	10	－	4	4
まちづくり	第 3 回	令和 6 年 3 月 16 日 (土)	9 時半～ 12 時	利根町 文化センター	12	－	4	4

3. 町民ワークショップの概要

共通テーマ：20年後の利根町を考えるワークショップ

対象		テーマ・概要	
まちづくり	第1回	テーマ	過去から考える、未来の利根町に大事なモノ・コト・ヒトは何？
		概要	人口減少以降、利根町に新しく増えたモノ・ヒト・コト、変わらずにあるモノ・ヒト・コト、無くなってしまったモノ・ヒト・コトは何かを皆で意見を出し合い、これまでの町の経緯を踏まえつつ、未来の利根町にとって大切なものとは何かを理由も含めて考えてもらう。
中学生	第1回	テーマ	架空の町“T 町”の未来について考えよう！
		概要	人口が減少し、消滅の危機となっている架空の町「T 町」について、5年ごとに取り組むべき事業（カード）を、人口対策・財政・幸福度3つの視点で、各グループで話し合いを行い選択していくゲームを行うことで、まちづくりとは何かを楽しみながら知ってもらう。
中学生	第2回	テーマ	町の未来と、未来の僕・私が利根町にできることを考えよう！
		概要	自分の理想の30歳の姿と、それまでの間をどのように過ごしていきたいかを想像してもらいつつ、未来の利根町はどのようなになってもらいたいのか、自身が利根町にできることは何かを考えてもらう。
まちづくり	第2回	テーマ	未来の利根町の次世代の担い手のために必要な取組を考えよう！
		概要	「まち」「ひと・しごと」の視点から、将来の担い手である若者に対して、必要なまちづくりの将来像を、これまでの他のWS成果をまとめた参考資料を確認しながら、必要となる取組について意見を出し合う。
まちづくり	第3回	テーマ	利根町の将来目標の実現に向けた方向性を考えよう！
		概要	第2回で出し合った意見（取組）をもとに、「何のために（目的）」「何をするのか（手段）」を、不足している取組がないかの確認も踏まえて改めて再整理し、利根町の将来に向け最終目標を確認する。

4. 町民ワークショップの内容

4-1 第1回まちづくりワークショップ

①開催概要

日 時	令和5年11月18日（土）9：30～12：00
場 所	利根町図書館 多目的ホール
募 集 方 法	利根町 HP・メール等での広報、広報紙への掲載（計画策定のお知らせ内）、 チラシの掲示 ※申込は電話・メール・WEB 可
参 加 者 数	21名（参加応募者数22名）
テ ー マ	過去から考える、未来の利根町に大事なモノ・コト・ヒトは何？
内 容	人口減少以降、利根町に新しく増えたモノ・ヒト・コト、変わらずにあるモノ・ヒト・コト、無くなってしまったモノ・ヒト・コトは何かを皆で意見を出し合い、これまでの町の経緯（利根町がもつ力）を踏まえつつ、未来の利根町にとって大切なものとは何かを理由も含めて考えてもらう。

②当日資料

- ・第1回まちづくりワークショップのしおり
- ・第5次総合振興計画（概要版）
- ・まちづくりワークショップに関するアンケート

※上記資料の中から、抜粋しスライド資料を掲載する。

第1回まちづくりワークショップ



2. 開催主旨等について

(1)開催主旨

①総合振興計画とは
利根町を

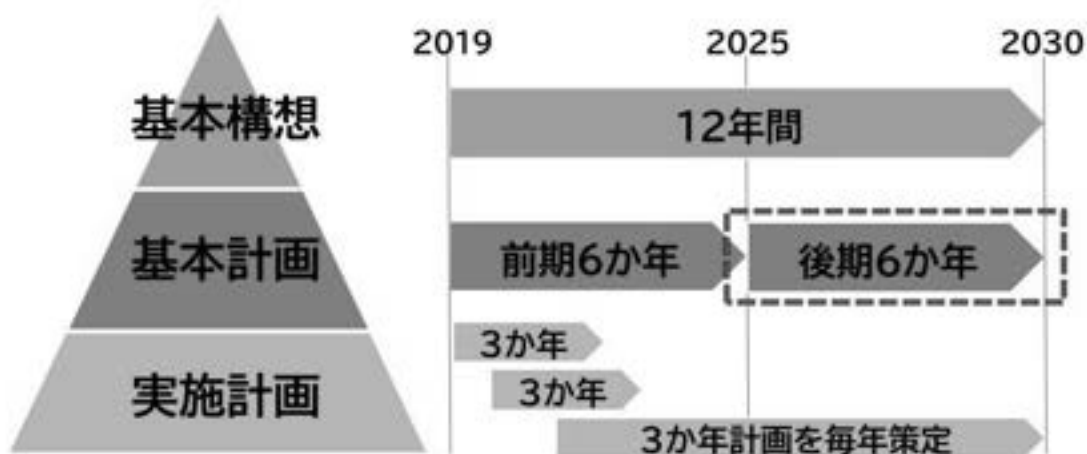


- どのような「まち」にしていくのか、
- そのために、どのような取り組みをしていくのか、
を総合的・体系的に計画としてとりまとめたもの

4

(1)開催主旨

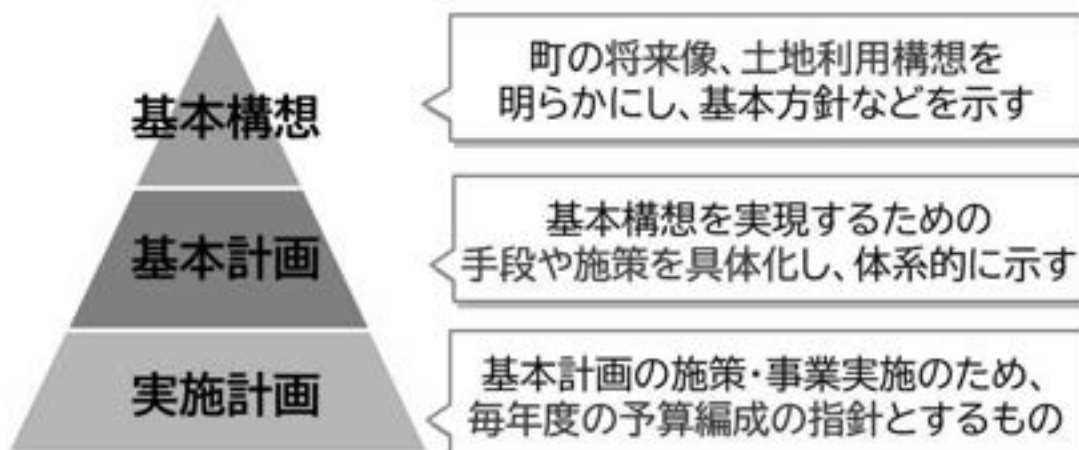
②計画の構成と期間



5

(1)開催主旨

②計画の構成と期間



6

(1)開催主旨

③前期基本計画について

計画の愛称
とね魅力アップビジョン

まちづくりの将来像

ともに創ろう
みんなが住みたくなるまち とね

まちづくりの基本方針

基本方針① 安全で人にやさしい快適なまちづくり

基本方針② いつまでも健康で元気あふれるまちづくり

基本方針③ 誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり

基本方針④ みんなが集まるおもしろいまちづくり

基本方針⑤ みんなが主役でともに進むまちづくり

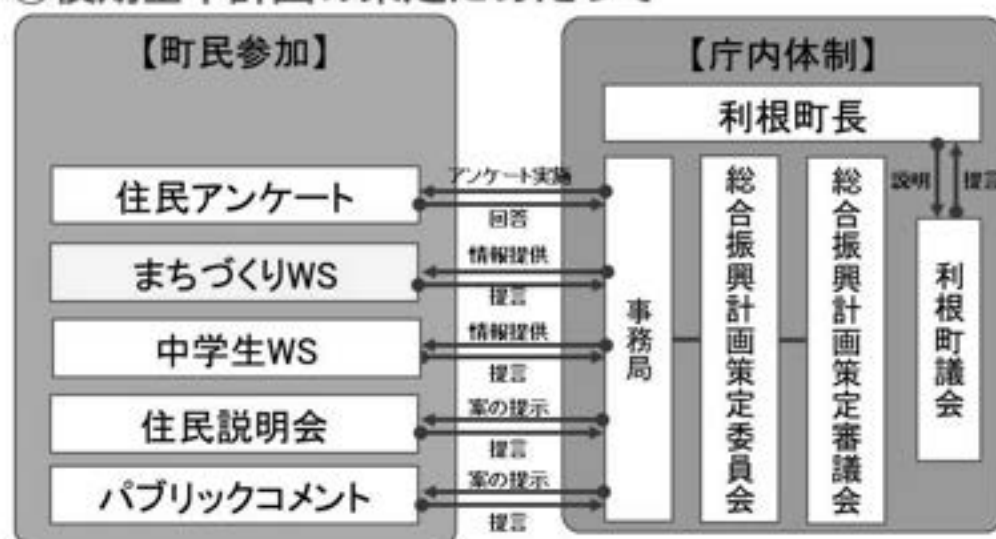
7

基本方針	基本施策
① 安全で人にやさしい 快適なまちづくり	1 快適な住環境の整備 2 環境対策の充実 3 道路・交通網の整備 4 安全で自然環境にやさしい上下水道の管理運営 5 防災対策の充実 6 防犯・交通安全の充実
② いつまでも健康で 元気あふれるまちづくり	1 健康づくりの推進 2 支え合う福祉の推進 3 みんなを支える社会保障制度の充実
③ 誰もが夢を持ち 輝き続けるまちづくり	1 子育て環境の充実 2 特色ある学校教育の推進 3 学びやすい生涯学習環境の整備 4 参加しやすい文化・スポーツ環境の整備
④ みんなが集まる おもしろいまちづくり	1 魅力ある産業振興 2 地域特性を活かした商工業の育成 3 活気あふれる交流・観光の推進
⑤ みんなが主役で ともに進むまちづくり	1 町民参加体制の充実 2 誰もが尊重される環境の整備 3 町民参加を進める広報・広聴の推進 4 効果的・効率的な行財政運営の推進

8

(1)開催主旨

④後期基本計画の策定にあたって



9

(2)まちづくりWSについて

①全体のテーマ

「20年後の利根町を考える」



人口予測等の利根町の状況



中学生ワークショップ

10

(2)まちづくりWSについて

②各回のまちづくりWSのテーマ

今回

1回目

過去から考える 未来の利根町に必要なモノ・コトは何？



(ねらい)
利根町が持ってるまちの力を把握する。

2回目

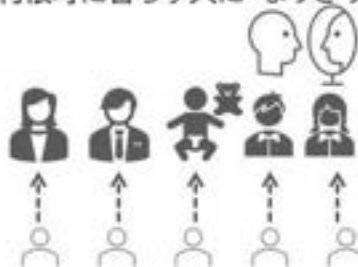
未来の利根町で暮らす人々のストーリーを考えよう！



(ねらい)
これからの延長線上で考えられる未来を見通してみる。

3回目

未来のまちは本当に大丈夫？未来の利根町に暮らす人に“なりきり”！



(ねらい)
立場を変え、様々な視点で未来を見つめてみる。

11

(2)まちづくりWSについて

第1回まちづくりWSのテーマ

「過去から考える、未来の利根町に
大事なモノ・コト・ヒトは何？」



12

(2)まちづくりWSについて

③ワールドカフェとは？

他のテーブルとメンバーを変えながら、話題となるテーマを発展させていくワークショップの方式。



13

(2)まちづくりWSについて

④各テーブルのテーマ

A

2000年以降、
利根町に 新しく増えた モノ・コト・ヒト

B

2000年以降、
利根町に 変わらずにずっとある モノ・コト・ヒト

C

2000年以降、
利根町から無くなってしまった モノ・コト・ヒト

14

(2)まちづくりWSについて

④各テーブルのテーマ



建物や商品、
サービスなど



体験や経験、
技術など



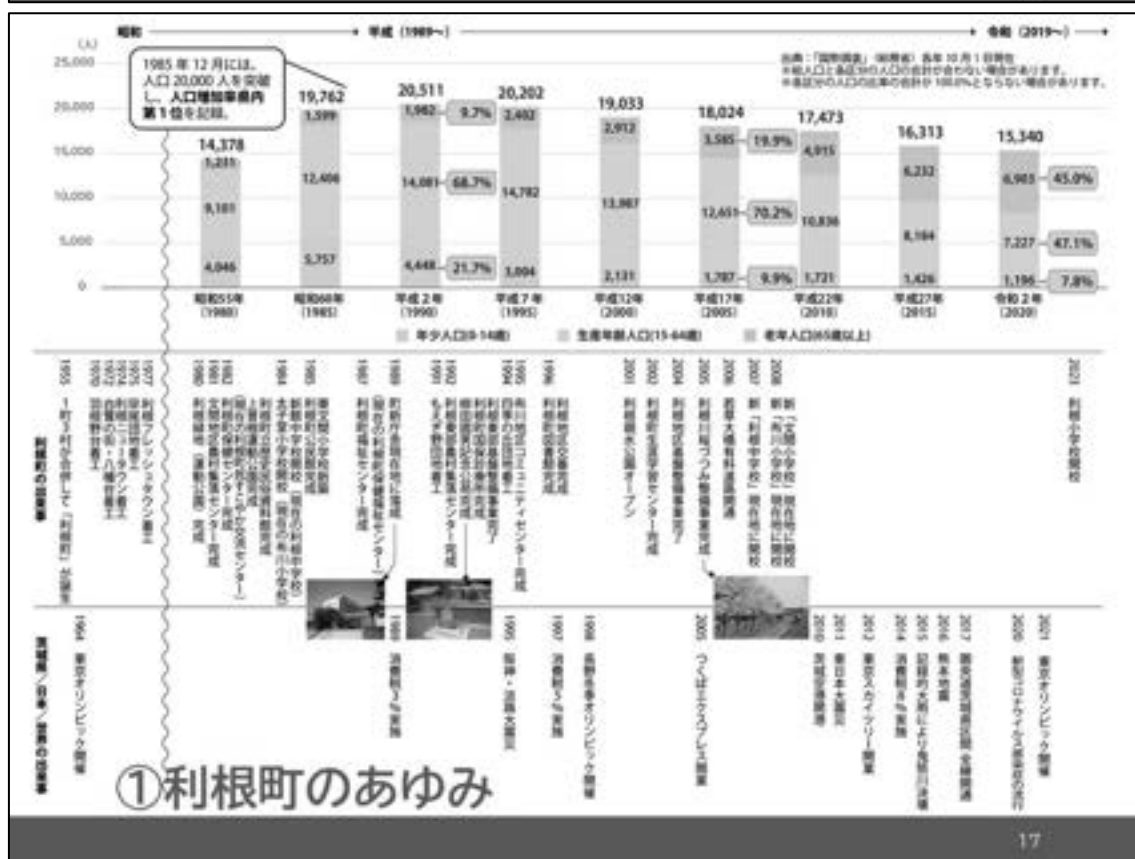
人の価値など

15

(3)話合いのヒント(情報提供)

～2000年以降変化したことを考えるために～

16



17

(3)話合いのヒント(情報提供)

～2000年以降変化したことを考えるために～

②利根町の今

人口10万人当たり換算での県内ランキング

	図書館数	ベスト1
1	利根町	6.1
2	つくばみらい市	6.1
3	城里町	5.1
4	かすみがうら市	4.7
5	八千代町	4.5

※2018年 図書館数より

20

(3)話合いのヒント(情報提供)

ベスト1
 従業も通学もしていない人口

1	利根町	44,676.0
2	大子町	41,887.8
3	高萩市	41,737.0

人口10万人当たり換算での
県内ランキング

出典:社会・人口統計体系(都道府県・市区町村のすがた) 2018年

 事業所数 ワースト1

1	利根町	2,642.1事業所
2	取手市	3,107.8事業所
3	牛久市	3,210.5事業所

出典:経済センサス-基礎調査結果 2019年

ワースト1
 自市区町村で従業・通学している人口

1	利根町	16,637.0
2	つくばみらい市	23,375.9
3	牛久市	23,625.1

出典:社会・人口統計体系(都道府県・市区町村のすがた)2015年

21

財政力指数 ワースト5

1	大子町	0.33
2	城里町	0.37
3	河内町	0.37
4	常陸太田市	0.41
5	利根町	0.43

※2019年 財政力指数(市町村財政)より

ベスト6 最終学歴人口(大学・大学院) 健康度(男性) ベスト2

1	守谷市	21,734.9
2	取手市	18,789.5
3	牛久市	18,409.1
4	つくば市	18,304.7
5	龍ヶ崎市	16,125.5
6	利根町	15,588.8

※出典:社会・人口統計体系(都道府県・市区町村のすがた) 2010年

↑人口10万人当たり換算での県内ランキング

1	八千代町	31.22
2	利根町	31.61
3	結城市	31.81
4	牛久市	33.73
5	常陸太田市	35.91

※令和元年度47都道府県と茨城県44市町村の健康寿命(余命)に関する調査研究報告書(茨城県立健康プラザ)より 2015～2019年 市町村別加重障害保有(年齢調整WDP)のランキング

22

街の幸福度 & 住みたい街ランキング2022

	街の幸福度	住みたい街
守谷市	1位	1位
つくば市	2位	12位
東海村	3位	3位
阿見町	4位	4位
笠間市	5位	13位
利根町	6位	10位

※「いい部屋ネット 街の幸福度ランキング2022<茨城県版>」(大東建託株式会社)

23

(4)話合いの進め方

②討議の進め方

- 第1～3討議: テーブルのテーマについて意見交換
- 第4討議: 未来の利根町に大切なことについて意見交換



24

■各討議の流れ(第1討議～第3討議)

①自己紹介及び意見の書き出し(5分)

- 簡単な自己紹介とテーブルテーマについて意見書き出し

※第2・3討議では付箋の読み込み

書き方例

②意見交換(10分)

- マップに貼られた付箋を参考に意見交換

③意見のまとめ(5分)

- 次の人達にわかるよう意見(付箋)を整理

図書館

静かで居心地が良い

利用者がいない

休憩・席移動(5分)

25

■各討議の流れ(4討議)

①討議内容の確認と意見交換(5分)

- これまでの討議内容(付箋)の読み込み

②意見の書き出し(5分)

- これまでの討議結果(=利根町の状況)を踏まえ、未来の利根町に大切なことは何かを理由も含めて3つまで書き出します。

③意見交換(10分)

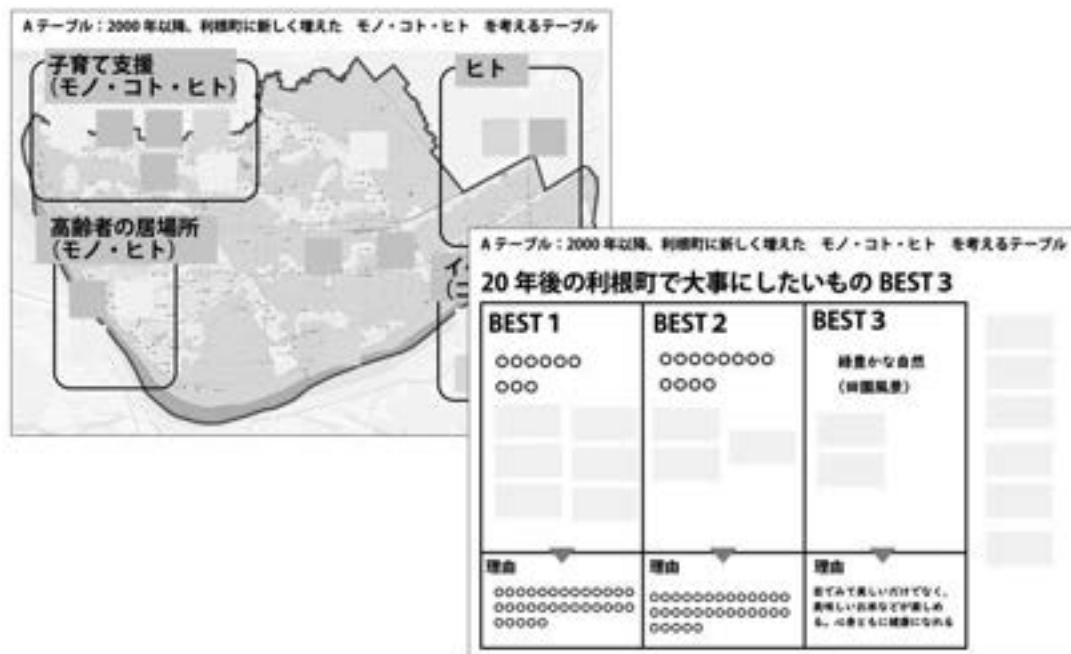
- 書き出した付箋を参考に意見交換

④意見のまとめ(5分)

- 発表に向けて意見を整理

26

■討議結果イメージ



27

■発表について

- ご自身の班が呼ばれたら、全員で発表用ボードの前に移動してください。
- 司会が「はじめてください」とお声かけしますので、発表者の方、発表をお願いします。
- 発表が終わったら記念撮影をします。その後、元の席にお戻りください。

28

★意見交換のポイント

- *積極的に自分の意見を出してみましょう。
- *なるべく多くの方が意見を出せるように発言は簡潔に心がけましょう。
- *自分と違う意見も尊重し、相手の意見を否定しないようにしましょう。
- *自由に意見を述べます。間違っているかな？など考える必要はありません。
- *できるだけ多くのアイデアを出しましょう。人と同じでもかまいません。
- *他人の意見を受けとめて、さらにそれを発展させます。

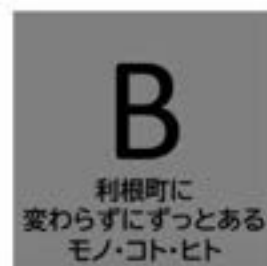
29

4. まちづくりワークショップ

30

入口 スクリーン側

参
観



参
観



31

5. 発表

12

6. 総評

13

次回WSのお知らせ

	開催日	場所	テーマ
第2回	令和6年 2月17(土) 時間未定	利根町 図書館	未来の利根町で暮らす 人々のストーリーを考えよう！
第3回	令和6年 3月16(土) 時間未定	利根町 文化センター	未来のまちは本当に大丈夫？未来の利根町に暮らす人に“なりきり”！

～是非ご参加ください～

34

7. 閉会

35

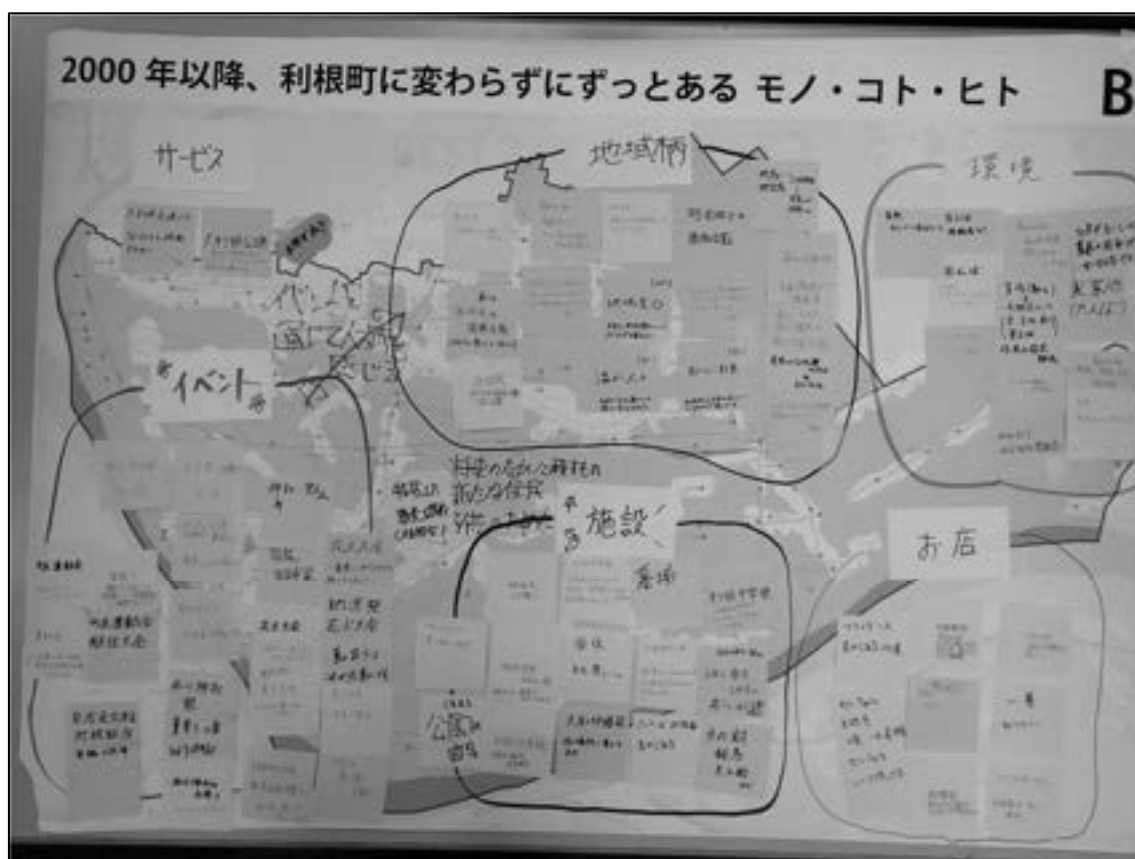
③当日のワーク結果

【A テーブル：2000年以降、利根町に新しく増えた モノ・コト・ヒト】

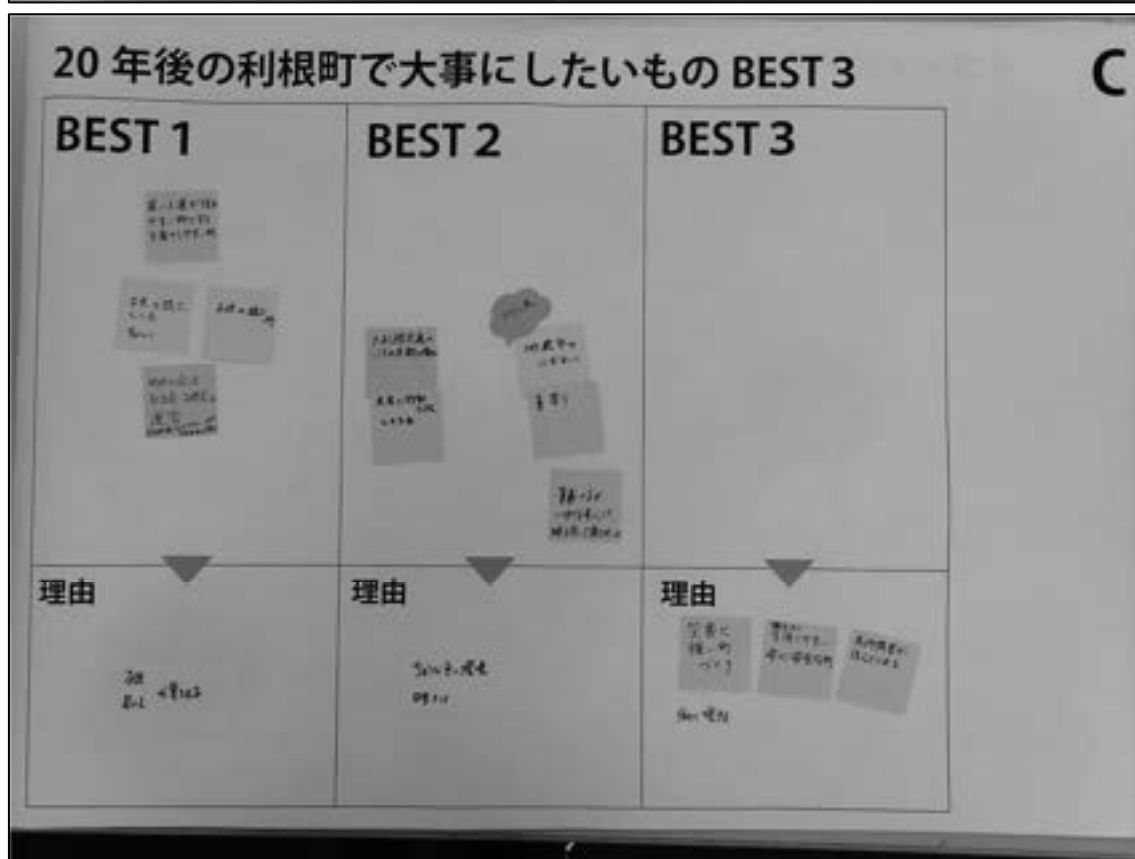


20年後の利根町で大事にしたいもののBEST 3			A
BEST 1	BEST 2	BEST 3	
町民の健康と安全 ・高齢者の生活 ・子育て支援 ・環境保全 ・防災対策 ・観光振興 ・文化振興 ・スポーツ振興 ・教育振興 ・福祉振興 ・医療振興 ・産業振興 ・交通振興 ・情報振興 ・エネルギー振興 ・防災対策 ・環境保全 ・文化振興 ・スポーツ振興 ・教育振興 ・福祉振興 ・医療振興 ・産業振興 ・交通振興 ・情報振興 ・エネルギー振興	第一（子供） ・子供が安心して暮らせる ・子供が楽しく暮らせる ・子供が健康に暮らせる ・子供が安全に暮らせる ・子供が文化に暮らせる ・子供がスポーツに暮らせる ・子供が教育に暮らせる ・子供が福祉に暮らせる ・子供が医療に暮らせる ・子供が産業に暮らせる ・子供が交通に暮らせる ・子供が情報に暮らせる ・子供がエネルギーに暮らせる	第二（高齢者） ・高齢者が安心して暮らせる ・高齢者が楽しく暮らせる ・高齢者が健康に暮らせる ・高齢者が安全に暮らせる ・高齢者が文化に暮らせる ・高齢者がスポーツに暮らせる ・高齢者が教育に暮らせる ・高齢者が福祉に暮らせる ・高齢者が医療に暮らせる ・高齢者が産業に暮らせる ・高齢者が交通に暮らせる ・高齢者が情報に暮らせる ・高齢者がエネルギーに暮らせる	
理由 ・環境が大切 ・町民が共通意識を持つ ・住み続けたい ・伝統文化を継承	理由 ・人口の流出を防ぐ ・町内に安全な場所がある ・	理由 ・町の魅力と伝統を残す ・子供が遊ぶ場所を残す ・新産業	

【B テーブル： 2000 年以降、変わらずにずっとある モノ・コト・ヒト】



【Cテーブル：2000年以降、無くなってしまった モノ・コト・ヒト】



※第2回まちづくりワークショップ資料（まちテーブル参考資料1）より

「でも」キープムネオ道場1-10000

大分類	中分類	2000年以降、 新しくなってきたモノ・コト・ヒト	2000年以降、 変わってきたモノ・コト・ヒト	2000年以降、 新しくなってきたモノ・コト・ヒト	2000年以降、 新しくなってきたモノ・コト・ヒト	その他の未来	中学生が感じている 課題の課題
		過去	現在	未来	過去	未来	
イベント・ 交流	祭り	地域の祭り	地域の祭り	地域の祭り	地域の祭り	地域の祭り	
		神社・寺	神社・寺	神社・寺	神社・寺	神社・寺	
イベント・ 交流	祭典大会						
イベント・ 交流	運動会						
イベント・ 交流	マラソン・ 大会	マラソン大会	マラソン大会	マラソン大会	マラソン大会	マラソン大会	
		マラソン大会	マラソン大会	マラソン大会	マラソン大会	マラソン大会	
イベント・ 交流	その他						
イベント・ 交流	祭典・ 祭典・祭典	祭典・祭典・祭典	祭典・祭典・祭典	祭典・祭典・祭典	祭典・祭典・祭典	祭典・祭典・祭典	
		祭典・祭典・祭典	祭典・祭典・祭典	祭典・祭典・祭典	祭典・祭典・祭典	祭典・祭典・祭典	
イベント・ 交流	子供・ 子供						
イベント・ 交流	子供・ 子供						

[illegible]

大分類	中分類	2000年以降、 新しく増えているモノ・コト・ヒト	2000年以降、 新しく増えているモノ・コト・ヒト	2000年以降、 新しく増えているモノ・コト・ヒト	2000年以降、 新しく増えているモノ・コト・ヒト	その他の未来	中学生の気づきと印象
		例	例	例	例	例	例
環境・文化	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境
	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化
	自然環境	自然環境	自然環境	自然環境	自然環境	自然環境	自然環境
	社会環境	社会環境	社会環境	社会環境	社会環境	社会環境	社会環境
人	外国人 (異文化)	外国人	外国人	外国人	外国人	外国人	外国人
	世代	世代	世代	世代	世代	世代	世代
	性別	性別	性別	性別	性別	性別	性別
	職業	職業	職業	職業	職業	職業	職業
その他	マイナリティ (色・性別・障)	マイナリティ	マイナリティ	マイナリティ	マイナリティ	マイナリティ	マイナリティ
	価値観	価値観	価値観	価値観	価値観	価値観	価値観
	サービス	サービス	サービス	サービス	サービス	サービス	サービス
	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他

■「まち」データベース参考資料2

第1回まちづくりWS 第4回編【20年後の利根町で大事にしたいものBEST3】

[illegible]

「まち」サークル事務局 02-2332-1100

④開催風景



4-2 中学生ワークショップ（第1回）

①開催概要

日 時	令和6年1月22日（月）5・6限目
場 所	利根町中学校 体育館
参加者数	3年生 全クラス（112名）
テ マ	架空の町“T町”の未来について考えよう！
内 容	人口が減少し、消滅の危機となっている架空の町「T町」について、5年ごとに取り組むべき事業（カード）を、人口対策・財政・幸福度3つの視点で、各グループ（1クラスにつき3グループ×4クラス）で話し合を行い選択していくゲームを行うことで、まちづくりとは何かを楽しみながら知ってもらう。

②当日資料

- ・中学生ワークショップ（第1回）概要書
- ・役割分担表
- ・事業カード
- ・第2回の事前学習資料

※上記資料の中から、抜粋しスライド資料を掲載する。

利根町中学生ワークショップ(第1回)

令和6年1月22日(月)5・6限目

1. 開会

あいさつ・事務局紹介

2. ワークショップについて

目的と内容

4

(1)目的

①総合振興計画



町に住む人、町で働く人、行政が
「一緒にまちづくりを進めていく」
ための計画

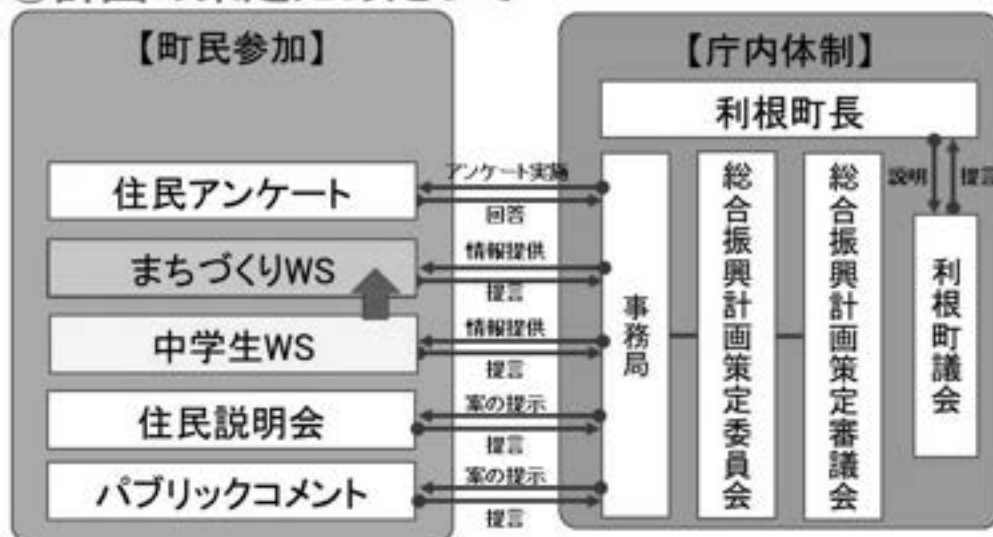


- 具体的にどのような「まち」にしていくのか
- そのために、どのような取り組みをしていくのか

5

(1)目的

②計画の策定にあたって



6

(2)内容

①まちづくりWSと中学生WSの 全体テーマ

「20年後の利根町を考える」



人口予測等の利根町の状況



中学生ワークショップ

7

(2)内容

利根町中学生ワークショップ(第1回)のテーマ

架空の町 T町 の
未来について考えよう！



まちづくり
ってなんだろう？



8

(3)ゲームの内容

架空の町『T町』では人口が減少し続けています。

かつては賑わっていたスーパーなどのお店や図書館・公園などの様々な施設は、利用する人も、そこで働く人も、どんどん少なくなっています。
また、町民がいなくなるということは、町に納められるお金(税金)も減ってしまうので、町で行っている様々な取組(事業)を続けることが難しくなってしまいます。

9

(3)ゲームの内容

このままでは、町からこれら施設やサービス自体が無くなり、
住んでいる人の幸福度も下がり、
やがては
町自体が消滅してしまうかもしれません…。

10

(3)ゲームの内容

そこで！！

皆さんには、T町役場の職員になってもらいます。
T町の将来に向けて5年ごとに時間が過ぎていく中で、
どのように町を運営(マネジメント)していくのかを考えて、
町を消滅の危機から救ってください！



みんなで
T町を
救おう！

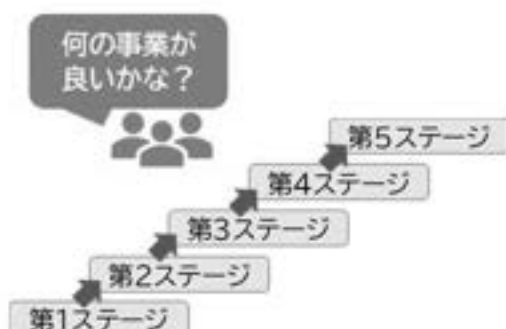
11

(4)ゲームの進め方

STEP1 各担当でやるべきことを相談しよう！

- グループにある分担表をみて自分の担当を確認しよう！
- 同じ担当の人と、T町が5年(1ステージ)ごとにやるべきことを相談しよう。

Aグループ 役割分担表		
町長 大野 蒼空		
副町長ゲームマスター 中学校 遠藤先生 町役場 佐藤		
人口対策担当	財政担当	幸福度担当
市橋 樹大	古川 桃蓮	村上 純美
伊藤 舞美	飯島 悠哉	幸田 悠冬
玉村 美果	高橋 昂大	笠井 颯太



12

■担当の確認

町長



Aグループ 役割分担表		
町長 大野 蒼空		
副町長ゲームマスター 中学校 遠藤先生 町役場 佐藤		
人口対策担当	財政担当	幸福度担当
市橋 樹大	古川 桃蓮	村上 純美
伊藤 舞美	飯島 悠哉	幸田 悠冬
玉村 美果	高橋 昂大	笠井 颯太

人口対策・財政・幸福度のことを踏まえ、町に相応しいと思われる事業を。

人口対策担当

町民(人口)が増える
or減らないように維
持する事業を。



財政担当

極力少ないお金で人
口対策や幸福度の効
果が得られる事業を。



幸福度担当

町に永く住み続け
てもらえるよう、町民
が幸せだと感じられ
る事業を。



13

■やるべきこと(事業)の相談

【事業を考えるにあたって】

- 事業カードには
事業の名前と内容のみ
- 各担当が持つ「ポイント」(150ポイント)をできるだけ下げずに、増やしていくことが目標



14

(4)ゲームの進め方

STEP2 みんなで相談して、事業を選びポイントを記入しよう！

■5年(1ステージ)ごとに区切って進めていきます。

【1ステージの流れ】

- ① 各担当1事業 理由も含めて町長に提案する
- ② みんなで相談して2事業に絞る
- ③ 選んだ事業をマネジメントシートに貼る
- ④ ゲームマスターを呼び、各ポイントを聞いて記入欄に記入する

15

【1ステージの流れ】

①各担当1事業 理由も含めて町長に提案



16

【1ステージの流れ】

②みんなで相談して2事業に絞る

※相談する中で、事業が変わってもOK



17

[1ステージの流れ]

③選んだ事業をマネジメントシートに貼る

※両面テープをはがして貼り付けてね！

18

[1ステージの流れ]

④ゲームマスターを呼び、各ポイントを記入欄に記入

※グループを担当するゲームマスターが誰かは役割分担表に書いてあるよ。

役割	担当
ゲームマスター	大野 貴志
記録係	山崎 健太
司会	山崎 健太
記録係	山崎 健太
司会	山崎 健太
記録係	山崎 健太
司会	山崎 健太

事業 ID	事業カード	ポイント
1	子育て支援住宅整備事業	10 0 -10
2	音楽フェス誘致事業	0 -10 10

19

(4)ゲームの進め方

STEP2 みんなで相談して、事業を選びポイントを記入しよう！

■5年(1ステージ)ごとに区切って進めていきます。

【1ステージの流れ】

- ① 各担当1事業 理由も含めて町長に提案する
- ② みんなで相談して2事業に絞る
- ③ 選んだ事業をマネジメントシートに貼る
- ④ ゲームマスターを呼び、各ポイントを聞いて記入欄に記入する

最大5ステージ目まで繰り返します

20

(4)ゲームの進め方

STEP3 ボーナスポイントの発表！

■ボーナスポイントを確認して、最終ポイントを書こう。



21

獲得ボーナスのID・ポイントの記入

●獲得ボーナス
(獲得したボーナスIDを記入して下さい。)

ボーナス1
ボーナス9

※ダミー(見本)です

●獲得ボーナスポイントの合計

10	10	0
----	----	---

町長の未来について考えるマネジメントシート

総合計 point

point point point

人口 財政 幸福度

22

総合計の記入

総合計 350 point

120 point	50 point	180 point
-----------	----------	-----------

※数字はダミー(見本)です

持ち点各担当150ポイント

町長の未来について考えるマネジメントシート

総合計 point

point point point

人口 財政 幸福度

第1～5ステージの合計

獲得ボーナスの合計

23

合計の計算について

例：人口ポイントの計算例

持ち点	第1～第5ステージの 人口ポイントの合計	獲得ボーナス ポイントの合計
150 ポイント	+ (-50) + ポイント	20 ポイント
= 120 ポイント		

24

総合計の記入

総合計 350 point

120 point	50 point	180 point
--------------	-------------	--------------

※数字はダミー(見本)です

25

(4)ゲームの進め方

STEP4 まちの将来コンセプトを書こう！

■将来のT町にどんなまちか名前をつけてシートに記入しよう。



26

(4)ゲームの進め方

STEP5 結果発表！

■総合計、人口対策、財政、幸福度、それぞれの1位を発表します。



27

★ワークショップでの話し合いのポイント

- *積極的に、自由に、自分の意見を出してみよう。
- *自分と違う意見も尊重し、相手の意見を否定しないようにしよう。
- *みんなが意見を出せるように、発言は簡単に。
- *他の人の意見を受けとめて、考えを発展させていこう。

誰かの意見によって、気づくことがあるかも？！

28

3. ワークショップ

29

4. 次回予告・閉会

30

次回予告[第2回 1月29日(月)5限目 各教室]

利根町中学生ワークショップ(第2回) 事前学習資料

参加者全員が2月29日(月)に開催される利根町中学生ワークショップ(第2回)に、自分自身を(第1回)で
 たいいん(第2回)で発表していただく予定です。自分自身を(第1回)で発表し、第2回の発表に
 参加します。そして、第2回の発表に自分自身を(第2回)で発表していただく予定です。

1.あなたが30歳になったときに、どんな大人になりたいですか?

ここで「第1回」で発表し、第2回の発表に自分自身を(第1回)で発表し、第2回の発表に
 参加します。そして、第2回の発表に自分自身を(第2回)で発表していただく予定です。

2.第2回の30歳になるために15歳から29歳の間にどのように過ごしたいですか?

予定日数	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
どこまで?	第1回の発表に自分自身を(第1回)で発表し、第2回の発表に 参加します。そして、第2回の発表に自分自身を(第2回)で発表していただく 予定です。	第2回の発表に自分自身を(第2回)で発表し、第3回の発表に 参加します。そして、第3回の発表に自分自身を(第3回)で発表していただく 予定です。	第3回の発表に自分自身を(第3回)で発表し、第4回の発表に 参加します。そして、第4回の発表に自分自身を(第4回)で発表していただく 予定です。	第4回の発表に自分自身を(第4回)で発表し、第5回の発表に 参加します。そして、第5回の発表に自分自身を(第5回)で発表していただく 予定です。	第5回の発表に自分自身を(第5回)で発表し、第6回の発表に 参加します。そして、第6回の発表に自分自身を(第6回)で発表していただく 予定です。	第6回の発表に自分自身を(第6回)で発表し、第7回の発表に 参加します。そして、第7回の発表に自分自身を(第7回)で発表していただく 予定です。
どのように?	第1回の発表に自分自身を(第1回)で発表し、第2回の発表に 参加します。そして、第2回の発表に自分自身を(第2回)で発表していただく 予定です。	第2回の発表に自分自身を(第2回)で発表し、第3回の発表に 参加します。そして、第3回の発表に自分自身を(第3回)で発表していただく 予定です。	第3回の発表に自分自身を(第3回)で発表し、第4回の発表に 参加します。そして、第4回の発表に自分自身を(第4回)で発表していただく 予定です。	第4回の発表に自分自身を(第4回)で発表し、第5回の発表に 参加します。そして、第5回の発表に自分自身を(第5回)で発表していただく 予定です。	第5回の発表に自分自身を(第5回)で発表し、第6回の発表に 参加します。そして、第6回の発表に自分自身を(第6回)で発表していただく 予定です。	第6回の発表に自分自身を(第6回)で発表し、第7回の発表に 参加します。そして、第7回の発表に自分自身を(第7回)で発表していただく 予定です。

第2回の発表に自分自身を(第2回)で発表し、第3回の発表に自分自身を(第3回)で発表していただく
 予定です。

31

次回予告[第2回 1月29日(月)5限目 各クラス]

1.あなたが 30 歳になったときに、どんな大人になりたいですか？

どこで、何をしていますか？

利根町との関りはどうですか？



32

次回予告[第2回 1月29日(月)5限目 各クラス]

2.理想の 30 歳になるために 15 歳から 29 歳の間をどのように過ごしたいですか？

▼記入例	16～18 歳	～20 歳	～22 歳	～24 歳	～26 歳	～28 歳	～30 歳
どこで？	利根町に家族と居住			東京都で一人暮らし		東京都（平日仕事） 利根町（週末休暇）	
なにを？	私立高校に進学	筑波大学に進学 建築について学ぶ		東京都の建築設計事務所 入社		独立し東京で 設計事務所設立	1級建築士取得

▼あなたの将来

	16～18 歳	～20 歳	～22 歳	～24 歳	～26 歳	～28 歳	～30 歳
どこで？							
なにを？	※上の例を見本に書いてみてください。						

33

利根町中学生ワークショップ(第1回)

ご協力ありがとうございました
大変お疲れ様でした

③当日のワーク結果

※中学生ワークショップ第2回配布資料（中学生ワークショップ（第1回）振り返り）より

利根町中学生ワークショップ（第1回） 振り返り

令和6年1月29日（月）

総合評価・各部門ランキング一覧表

利根町中学生ワークショップ（第1回）の際に発表が漏れているグループがありました。以下が正式な結果になります。

	人口部門	財政部門	幸福度部門	総合評価
Aグループ	3位 240point	9位 90point	1位 280point	3位 610point
Bグループ	10位 190point	3位 130point	11位 200point	10位 520point
Cグループ	4位 230point	11位 60point	1位 280point	5位 570point
Dグループ	12位 130point	3位 130point	12位 170point	12位 430point
Eグループ	4位 230point	12位 40point	3位 270point	8位 540point
Fグループ	1位 300point	6位 110point	3位 270point	1位 680point
Gグループ	4位 230point	1位 140point	9位 210point	4位 580point
Hグループ	8位 200point	7位 100point	6位 240point	8位 540point
Iグループ	2位 270point	7位 100point	3位 270point	2位 640point
Jグループ	8位 200point	1位 140point	9位 210point	7位 550point
Kグループ	7位 210point	5位 120point	8位 230point	6位 560point
Lグループ	10位 190point	9位 90point	6位 240point	10位 520point

2

人口部門の上位グループが選んだ事業

RANK	人口部門	ポイント
1位	Fグループ	300point
2位	Iグループ	270point
3位	Aグループ	240point
4位	Cグループ	230point
	Eグループ	
	Gグループ	
7位	Kグループ	210point
8位	Hグループ	200point
	Jグループ	
10位	Bグループ	190point
	Lグループ	
12位	Dグループ	130point

RANK	事業名称	人口	財政	幸福度
3グループ が選んだ 事業	子育て支援住宅整備事業	10	-10	10
	企業誘致による雇用促進事業	30	-10	10
	ふるさと納税活用事業	10	20	10
2グループ が選んだ 事業	持続可能なまちづくり推進事業(SDGs)	10	-10	10
	子育て支援事業(医療費等・給食費無償化)	20	-10	20
	6次産業化促進事業	10	-10	10
	空き店舗活用による商業の担い手育成事業	10	-10	10
	マルシェ開催事業	10	0	10
	自治体DXによる業務効率化事業	10	20	10

■その他の人口のポイントが高い事業

事業名称	人口	財政	幸福度
住宅団地整備事業	30	-30	20
総合病院誘致事業	20	-30	30
複合福祉支援施設整備事業	20	-30	10
野菜工場整備事業	20	-10	10

3

財政部門の上位グループが選んだ事業

RANK	財政部門	ポイント
1位	Gグループ	140point
	Jグループ	
3位	Bグループ	130point
	Dグループ	
5位	Kグループ	120point
6位	Fグループ	110point
7位	Hグループ	100point
	Iグループ	
9位	Aグループ	90point
	Lグループ	
11位	Cグループ	60point
12位	Eグループ	40point

RANK	事業名称	人口	財政	幸福度
4グループ が選んだ 事業	マルシェ開催事業	10	0	10
	シティプロモーション事業	10	-10	10
	ふるさと納税活用事業	10	20	10
3グループ が選んだ 事業	IR(カジノ)誘致事業	-40	30	-40
2グループ が選んだ 事業	婚活支援事業	-10	-10	10
	子育て支援住宅整備事業	10	-10	10
	子育て支援事業(医療費等・給食費無償化)	20	-10	20
	6次産業化促進事業	10	-10	10
	空き店舗活用による商業の担い手育成事業	10	-10	10
	音楽フェス誘致事業	10	0	10

■その他の財政のポイントが高い事業

事業名称	人口	財政	幸福度
産業廃棄物処理施設誘致事業	-40	30	-40
自治体DXによる業務効率化事業	10	20	10
公共施設再編事業	-30	20	-30

4

幸福度部門の上位グループが選んだ事業

RANK	幸福度部門	ポイント	RANK	事業名称	人口	財政	幸福度
1位	Aグループ	280point	5グループ が選んだ 事業	ふるさと納税活用事業	10	20	10
	Cグループ		4グループ が選んだ 事業	子育て支援住宅整備事業	10	-10	10
3位	Eグループ	270point		マルシェ開催事業	10	0	10
	Fグループ		3グループ が選んだ 事業	鉄道駅誘致事業	-20	-30	30
	Iグループ			Uターン就職支援事業	10	-10	10
6位	Hグループ	240point		空き店舗活用による商業の担い手育成事業	10	-10	10
	Lグループ			企業誘致による雇用促進事業	30	-10	10
					シティプロモーション事業	10	-10
■その他の人口のポイントが高い事業							
				事業名称	人口	財政	幸福度
9位	Gグループ	210point		総合病院誘致事業	20	-30	30
	Jグループ			住宅団地整備事業	30	-30	20
11位	Bグループ	200point		図書館（生涯学習施設）利用促進事業	10	-10	20
12位	Dグループ	170point		子育て支援事業（医療費等・給食費無償化）	20	-10	20
				地域の伝統・祭礼継承事業	0	-10	20
				T町版オリンピック補助事業	10	-10	20

多くのグループが選んだ事業

RANK	事業名称	人口	財政	幸福度
12グループ が選んだ事業	ふるさと納税活用事業	10	20	10
10グループが 選んだ事業	マルシェ開催事業	10	0	10
9グループが 選んだ事業	シティプロモーション事業	10	-10	10
8グループが 選んだ事業	子育て支援住宅整備事業	10	-10	10
6グループが 選んだ事業	鉄道駅誘致事業	-20	-30	30
	Uターン就職支援事業	10	-10	10
	空き店舗活用による商業の担い手育成事業	10	-10	10
	婚活支援事業	-10	-10	10
5グループが 選んだ事業	子育て支援事業（医療費等・給食費無償化）	20	-10	20
	6次産業化促進事業	10	-10	10
	IR（カジノ）誘致事業	-40	30	-40
	企業誘致による雇用促進事業	30	-10	10

まちの将来コンセプト一覧

クラス	グループ	コンセプト
1組	Aグループ	ハッピータウン
	Bグループ	バランスの良い町 T町
	Cグループ	Happy town
2組	Dグループ	個性あふれる町
	Eグループ	ウォールマリア
	Fグループ	野菜は友達町
3組	Gグループ	幸せならOKです お金はコツコツ稼ごう
	Hグループ	少子高齢化打破！！
	Iグループ	お金がなくても幸せな町
4組	Jグループ	幸せな柳BA市
	Kグループ	絶幸町 ぜっこうちょう
	Lグループ	「ふにゃっ？」幸せなまち

7

成果物(Aグループ)



8

成果物(Bグループ)



成果物(Cグループ)



村越町中学校ワークショップ (第1回)

「D」チームのT町の未来について考えるマネジメントシート

まちの将来コンセプト

個性あふれる町

ゲームのルール

① 5年ごとにまちの未来について、どんなまちを想像するかを話し合います。イメージの絵を1枚ずつ描き、それを紙に写して、5年ごとにまちの未来を想像するゲームを行います。

10～15年 (第3ステージ)

人口	40	30	40
財政	10	10	10
幸福度	10	10	10

5～10年 (第2ステージ)

人口	40	30	40
財政	10	10	10
幸福度	10	10	10

0～5年 (第1ステージ)

人口	40	30	40
財政	10	10	10
幸福度	10	10	10

ボーナスポイント

① 5年ごとにまちの未来について、どんなまちを想像するかを話し合います。イメージの絵を1枚ずつ描き、それを紙に写して、5年ごとにまちの未来を想像するゲームを行います。

② 5年ごとにまちの未来について、どんなまちを想像するかを話し合います。イメージの絵を1枚ずつ描き、それを紙に写して、5年ごとにまちの未来を想像するゲームを行います。

③ 5年ごとにまちの未来について、どんなまちを想像するかを話し合います。イメージの絵を1枚ずつ描き、それを紙に写して、5年ごとにまちの未来を想像するゲームを行います。

総合計 430 point

人口	130	130	170
財政	30	30	30
幸福度	30	30	30

人口 財政 幸福度

「E」チームのT町の未来について考えるマネジメントシート

まちの将来コンセプト

ウォールマリア

ゲームのルール

5～10年（第2ステージ）

10～15年（第3ステージ）

15～20年（第4ステージ）

20～25年（第5ステージ）

総合算 540 point

人口 230 point

財政 40 point

幸福度 270 point

成果物(Fグループ)



13

成果物(Gグループ)



14

成果物(Hグループ)



成果物(Iグループ)



成果物(Jグループ)



成果物(Kグループ)



④開催風景



4-3 中学生ワークショップ（第2回）

①開催概要

日 時	令和6年1月29日（月）5限目
場 所	利根町中学校 各クラス
参加者数	3年生 全クラス（112名）
テ ー マ	町の未来と、未来の僕・私が利根町にできることを考えよう！
内 容	自分の理想の30歳の姿と、それまでの間をどのように過ごしていきたいかを想像してもらいつつ、未来の利根町はどのようになってもらいたいのか、自身が利根町にできることは何かを考えてもらう。

②当日資料

- ・中学生ワークショップ（第2回）概要書
- ・中学生ワークショップ（第1回）振り返り

※上記資料の中から、抜粋し概要書を掲載する。

■中学生ワークショップ（第2回）概要書

『未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！』

利根町中学生ワークショップ【第2回】【令和6年1月29日（月）5限目】

13:30 利根町役場より 開会のあいさつ
13:35 サボーターより 今日の進め方について

13:40 (15分間)

STEP1 僕・私の理想の未来を考える

① 30歳の時の、自身の理想の姿を書く

② 29歳までの、自身の理想の姿を書く

13:45 (15分間)

STEP2 利根町の理想の未来を考える

① 30歳の時の利根町の理想の姿を自分の理想の姿に書き添えます。

② 29歳までの利根町の理想の姿を自分の理想の姿に書き添えます。

13:50 (15分間)

STEP3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

① 利根町の理想の姿に、自分が未来のためにできることを書き添えます。

② 利根町の理想の姿に、自分が未来のためにできることを書き添えます。

14:05 (15分間)

ワーク結果紹介

14:10 開会のあいさつ 挨拶・感想
14:12 利根町役場より 開会のあいさつ
14:13 閉会

みんなの書き方例

30歳 → 年齢
東京 → どこで(住んでいる場所)
建築家として活躍 → 何をしているか

16-18歳 利根町 町民として活躍
19-22歳 利根町 町民として活躍
23-29歳 利根町 町民として活躍

ワークシート「A」の書き方イメージ

ワークシート「A」の書き方イメージ

ワークシート「B」の書き方イメージ

ワークシート「C」の書き方イメージ

③当日のワーク結果

【3年1組】

ワークシート 利根町中学生ワークショップ (第2回) 令和6年1月29日 (月)

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう!

3年【1】組 【1】班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

- ① 3年後の自分、自分の理想の姿を書く
- ② 3年後の理想の姿をみんなの前で発表します。
- ③ 2年後までの、自分の理想の姿を書く
- ④ 2年後までの理想の姿をみんなの前で発表します。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

- ① 3年後の利根町の理想の姿をみんなの前で発表します。
- ② 2年後までの、利根町の理想の姿を書く
- ③ 2年後までの理想の姿をみんなの前で発表します。

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

- ① 利根町の理想の姿に合わせて自分ができることを考える
- ② 自分ができることをみんなの前で発表します。
- ③ 自分ができることをみんなの前で発表します。

ワークシート 利根町中学生ワークショップ (第2回) 令和6年1月29日 (月)

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう!

3年【1】組 【2】班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

- ① 3年後の自分、自分の理想の姿を書く
- ② 3年後の理想の姿をみんなの前で発表します。
- ③ 2年後までの、自分の理想の姿を書く
- ④ 2年後までの理想の姿をみんなの前で発表します。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

- ① 3年後の利根町の理想の姿をみんなの前で発表します。
- ② 2年後までの、利根町の理想の姿を書く
- ③ 2年後までの理想の姿をみんなの前で発表します。

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

- ① 利根町の理想の姿に合わせて自分ができることを考える
- ② 自分ができることをみんなの前で発表します。
- ③ 自分ができることをみんなの前で発表します。

3年 []組 []班

② 2分過ぎの時の、自分の現在の姿を書く
・ 2分過ぎの時の現在の姿を自分のノートに書き写す。

③ 2分過ぎの時の、自分の現在の姿を書く
・ 2分過ぎの時の現在の姿を自分のノートに書いて貼ります。

- 人口を減らした人が増えた割合が大きい
- 生活に困窮する層から減らされる
- 若い人は結婚して子どもを育てる傾向

[illegible]

3年〔/〕組 〔4〕班

②より速いので、自身の経験の速さを
・2より速までの経験の速さを自分のレベルに書いてあります。

- ・30歳の時の40歳頃の理想の姿を、2枚おのふせんに書いて貼ります。

参加者が書いたイメージ

- ・人口が増え、人が増え大団円を成
- ・生活に困らず豊かになっていくことを
- ・若い人が集って子どもを育ててくれる

[illegible]

ワークシート

利根町中学生ワークショップ（第2回）令和6年1月29日（月）

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！

3年〔1〕組〔5〕班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

① 3-5歳の時の、自分の理想の姿を書く
→ 3-5歳の時の理想の姿を5つのエリアに分けて書く。

② 29歳までの、自分の理想の姿を書く
→ 29歳までの理想の姿を5つのエリアに分けて書く。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

③ 30歳以降の利根町の理想の姿を5つのエリアに分けて書く。

④ 利根町の理想の未来のイメージ
・人口が増えたり減ったりする
・生活が便利になる
・新しい人が移住してくる
・新しい人が移住してくる

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

⑤ 利根町の理想の未来のためにできることを考える
・利根町の理想の未来のためにできることを考える
・利根町の理想の未来のためにできることを考える
・利根町の理想の未来のためにできることを考える

ワークシート

利根町中学生ワークショップ（第2回）令和6年1月29日（月）

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！

3年〔1〕組〔6〕班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

① 3-5歳の時の、自分の理想の姿を書く
→ 3-5歳の時の理想の姿を5つのエリアに分けて書く。

② 29歳までの、自分の理想の姿を書く
→ 29歳までの理想の姿を5つのエリアに分けて書く。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

③ 30歳以降の利根町の理想の姿を5つのエリアに分けて書く。

④ 利根町の理想の未来のイメージ
・人口が増えたり減ったりする
・生活が便利になる
・新しい人が移住してくる
・新しい人が移住してくる

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

⑤ 利根町の理想の未来のためにできることを考える
・利根町の理想の未来のためにできることを考える
・利根町の理想の未来のためにできることを考える
・利根町の理想の未来のためにできることを考える

ワークシート 利根町中学生ワークショップ（第2回）令和6年1月29日（月）

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！

3年【2】組【1】班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

- ① 30歳までの、自分の理想の姿を書く
- ② 30歳までの理想の姿を30歳の自分に向けて書く。
- ③ 20歳までの、自分の理想の姿を書く
- ④ 20歳までの理想の姿を20歳の自分に向けて書く。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

- ① 30歳までの理想の姿を30歳の自分に向けて書く。
- ② 20歳までの理想の姿を20歳の自分に向けて書く。

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

- ① 利根町の理想の姿に合わせて自分ができることを30歳の自分に向けて書く。
- ② 利根町の理想の姿に合わせて自分ができることを20歳の自分に向けて書く。
- ③ 利根町の理想の姿に合わせて自分ができることを10歳の自分に向けて書く。

ワークシート 利根町中学生ワークショップ（第2回）令和6年1月29日（月）

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！

3年【2】組【2】班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

- ① 30歳までの、自分の理想の姿を書く
- ② 30歳までの理想の姿を30歳の自分に向けて書く。
- ③ 20歳までの、自分の理想の姿を書く
- ④ 20歳までの理想の姿を20歳の自分に向けて書く。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

- ① 30歳までの理想の姿を30歳の自分に向けて書く。
- ② 20歳までの理想の姿を20歳の自分に向けて書く。

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

- ① 利根町の理想の姿に合わせて自分ができることを30歳の自分に向けて書く。
- ② 利根町の理想の姿に合わせて自分ができることを20歳の自分に向けて書く。
- ③ 利根町の理想の姿に合わせて自分ができることを10歳の自分に向けて書く。

ワークシート 利根町中学生ワークショップ (第2回) 令和6年1月29日 (月)

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう!

3年 [2] 組 [6] 班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

- ① 30歳までの、自分の理想の未来を書く。
- ② 30歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。
- ③ 20歳までの、自分の理想の未来を書く。
- ④ 20歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

- ① 30歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。
- ② 20歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。
- ③ 10歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。
- ④ 10歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

- ① 利根町の理想の未来のためにできることを考える。
- ② 利根町の理想の未来のためにできることを考える。
- ③ 利根町の理想の未来のためにできることを考える。
- ④ 利根町の理想の未来のためにできることを考える。

ワークシート 利根町中学生ワークショップ (第2回) 令和6年1月29日 (月)

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう!

3年 [2] 組 [6] 班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

- ① 30歳までの、自分の理想の未来を書く。
- ② 30歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。
- ③ 20歳までの、自分の理想の未来を書く。
- ④ 20歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

- ① 30歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。
- ② 20歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。
- ③ 10歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。
- ④ 10歳までの理想の未来を自分の未来に書き換えます。

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

- ① 利根町の理想の未来のためにできることを考える。
- ② 利根町の理想の未来のためにできることを考える。
- ③ 利根町の理想の未来のためにできることを考える。
- ④ 利根町の理想の未来のためにできることを考える。

ワークシート 利根町中学生ワークショップ（第2回）令和6年1月29日（月）

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！

3年【3】組【1】班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

① 3分間の時間、自分の理想の未来を書く
 ・3分間の時間の理想の未来を自分のシートに書きます。
 ② 2分間の時間、自分の理想の未来を書く
 ・2分間の時間の理想の未来を自分のシートに書きます。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

① 3分間の時間、利根町の理想の未来を自分のシートに書きます。
 ② 2分間の時間、利根町の理想の未来を書く
 ・人口が増えたり減ったりする時
 ・生活が便利になる時
 ・自然が豊かになる時
 ・人が住みやすくなる時

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

① 利根町の理想の未来のためにできることを考える
 ・利根町の理想の未来のためにできることを自分のシートに書きます。
 ② 利根町の理想の未来のためにできることを考える
 ・利根町の理想の未来のためにできることを自分のシートに書きます。
 ・利根町の理想の未来のためにできることを自分のシートに書きます。

ワークシート 利根町中学生ワークショップ（第2回）令和6年1月29日（月）

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！

3年【3】組【2】班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

① 3分間の時間、自分の理想の未来を書く
 ・3分間の時間の理想の未来を自分のシートに書きます。
 ② 2分間の時間、自分の理想の未来を書く
 ・2分間の時間の理想の未来を自分のシートに書きます。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

① 3分間の時間、利根町の理想の未来を自分のシートに書きます。
 ② 2分間の時間、利根町の理想の未来を書く
 ・人口が増えたり減ったりする時
 ・生活が便利になる時
 ・自然が豊かになる時
 ・人が住みやすくなる時

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

① 利根町の理想の未来のためにできることを考える
 ・利根町の理想の未来のためにできることを自分のシートに書きます。
 ② 利根町の理想の未来のためにできることを考える
 ・利根町の理想の未来のためにできることを自分のシートに書きます。
 ・利根町の理想の未来のためにできることを自分のシートに書きます。

3 年 [3] 組 [3] 班

3 年 [3] 組 [+] 班

[illegible]

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！

3年〔3〕組 〔1〕班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

- ① 30歳までの間に、自分の理想の未来を描く。
・ 30歳までの理想の未来を自分なりに考えてみる。
- ② 20歳までの間に、自分の理想の未来を描く。
・ 20歳までの理想の未来を自分なりに考えてみる。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

- ① 30歳までの間に、利根町の理想の未来を描く。
・ 人口が増え、人が増え、町が活気がある。
・ 自然が豊かになり、環境が良くなる。
・ 若い人が増えて、町が元気になる。

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

- ① 利根町の理想の未来に向けて自分ができることを考える。
・ 自分ができることを考えてみる。
・ 自分ができることを考えてみる。
- ② 利根町の理想の未来に向けて自分ができることを考える。
・ 自分ができることを考えてみる。
・ 自分ができることを考えてみる。



未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！

3年〔3〕組 〔6〕班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

- ① 30歳までの間に、自分の理想の未来を描く。
・ 30歳までの理想の未来を自分なりに考えてみる。
- ② 20歳までの間に、自分の理想の未来を描く。
・ 20歳までの理想の未来を自分なりに考えてみる。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

- ① 30歳までの間に、利根町の理想の未来を描く。
・ 人口が増え、人が増え、町が活気がある。
・ 自然が豊かになり、環境が良くなる。
・ 若い人が増えて、町が元気になる。

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

- ① 利根町の理想の未来に向けて自分ができることを考える。
・ 自分ができることを考えてみる。
・ 自分ができることを考えてみる。
- ② 利根町の理想の未来に向けて自分ができることを考える。
・ 自分ができることを考えてみる。
・ 自分ができることを考えてみる。



ワークシート

利根町中学生ワークショップ（第2回）令和6年1月29日（月）

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！

3年〔4〕組 〔1〕班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

- ① 30歳の時、自分の理想の姿を書く
- ② 30歳の時の理想の姿を次のように記入します。
- ③ 2年後までの、理想の理想の姿を書く
- ④ 2年後までの理想の姿を次のように記入します。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

- ① 30歳の時の利根町の理想の姿を次のように記入します。
- ② 利根町の理想の姿を次のように記入します。
- ③ 利根町の理想の姿を次のように記入します。

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

- ① 利根町の理想の姿に向けて自分ができることを次のように記入します。
- ② 利根町の理想の姿に向けて自分ができることを次のように記入します。
- ③ 利根町の理想の姿に向けて自分ができることを次のように記入します。

ワークシート

利根町中学生ワークショップ（第2回）令和6年1月29日（月）

未来の僕・私が利根町のためにできることを考えよう！

3年〔4〕組 〔2〕班

STEP 1 僕・私の理想の未来を考える

- ① 30歳の時、自分の理想の姿を書く
- ② 30歳の時の理想の姿を次のように記入します。
- ③ 2年後までの、理想の理想の姿を書く
- ④ 2年後までの理想の姿を次のように記入します。

STEP 2 利根町の理想の未来を考える

- ① 30歳の時の利根町の理想の姿を次のように記入します。
- ② 利根町の理想の姿を次のように記入します。
- ③ 利根町の理想の姿を次のように記入します。

STEP 3 利根町の理想の未来のためにできることを考える

- ① 利根町の理想の姿に向けて自分ができることを次のように記入します。
- ② 利根町の理想の姿に向けて自分ができることを次のように記入します。
- ③ 利根町の理想の姿に向けて自分ができることを次のように記入します。

3年〔4〕組 〔3〕班

② ①の2項目の、自身の関与の度を高く
・ ②の2項目の関与の度を自分のレベルに引き上げます。

③ ②の2項目の、自身の関与の度を高く
・ ③の2項目の関与の度を自分のレベルに引き上げていきます。

- ・30歳までの45項目の環境の悩みをシナリオのせんに基いてします。

環境問題のまじりイメージ

- ・人口増加・人が増える表でせぬ所
- ・生活にあらざる安心して過たせぬ所
- ・若い人が働いてることも得てらるる所

新設の道路の設計に合わせ整備できる
ことにより、ハブに集めて効率的な
輸送が可能になる。



3 年 [4] 組 [4] 班

② 2人までの、お金の使用の姿を撮く
→ 2人までの使用の姿を撮ったところから撮ります。

- ・人口が増え、人が増え大都会になる
- ・生活は豊かになるが、迷惑なことになる
- ・都市に集中して暮らす生活になる

・本館の資料に添えて自撮りできる
ことをお知らせのうえに提供いたします。



3 年 [4] 組 [5] 班

[illegible]

・主眼線の時の時間的・空間的変遷の姿をヒートマップで可視化して見ます。

● 謝世の年齢がイブニング

- ・人口増加、人口増大に伴う社会問題
- ・生活に密着して関心して語られる
- ・若い人々から取り上げられてきた

・利用者の要望の届くように仕掛けができる
ことを例として、科ごとに紹介する。

- 基付の利を $\frac{1}{2}$ のように減らす
- 配の戻金率 10% 以上



3年〔4〕組〔6〕班

③ 3名通りの時、自分の理想の姿を書く
・ 3名通りの理想の姿を一人のシートに書き加えます。

・ 3 名議の時に料理長の職務の委任に同意したと記入し、署名します。

● 2007年10月1日～2008年9月30日

- ・人口増加に伴う環境負荷の増大への対応
- ・生活に密着する身近な生活サービスの提供
- ・国・自治体と連携してまちづくりを進める

・料理中に障子の裏に立入りて種敷きで作業
と云ふ事がある。これに對して種屋主事、

● 直列が可視 ●● のように可視が2つ

・ 資料提供先 様へ、お問い合わせ



※第2回まちづくりワークショップ掲示資料（ひと・しごとテーブル参考資料）より

72

ID	STEP1/年齢															タイプ
	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	
97	県立高校に通う			塾/いろいろな仕事をしてみる				市議会/好きな事を仕事にしている								転出者
98	公立の高校に通う			ばあちゃんを介護				家で仕事							千葉の病院の近く/公務員	転出者
99	電ヶ崎第二高校にやよう			東京/劇団+映画				東京/仕事もらってアシスタント							東京/漫画家	転出者
100	千葉県の高校に通う			東京の専門学校に通う				東京/ラエディンダブランスン	として働く						東京/たぶんラエディンダブランスンの仕事をする	転出者
101	茨城の高校に通う			千葉or東京/大学に行く				千葉or東京/いいかんじのところまで仕事							千葉or東京/いいかんじに働ける仕事	転出者
102	高校生			千葉/大学で勉強				千葉/放射線技師							千葉/放射線技師	転出者
103	千葉県中央学院高等学校に通う			どっかの大学で看護系の勉強をする				留学して英語学ぶ							都会すぎず田舎すぎないところ何かして幸せに暮らす	
104	電ヶ崎第二高等学校に通う			東京都/仕事をする				仕事をする							東京都/専業主婦	転出者
105	駒手松陽高校にいく/バイト			千葉/看護系がすきいところ				いいところ決めてはたらく							千葉/看護系の店員	転出者
106	公立の高校に進学(千葉)			京都の大学で留学などを学ぶ				東京→海外外務省に就職(外資(専門職)として働く							東京→海外外資省として働く	転出者
107	東京大学附属千代田高等学校			鹿島アントラーズで活躍			ベルギーでサッカー選手				イングランドサッカー選手				スペインサッカー選手	転出者
108	電ヶ崎二高に通う			ハーバード大学に行く								石炭を見つける			ドイツ/石油王	転出者
109	家の手伝いをする			柏市に引っ越す/仕事をする									東京都/サフリーマンになる		東京/家族と楽しく暮らしている	転出者
110	電ヶ崎第一高校進学			大学近く、大学進学				化学系研究員入社							独身/化学家として研究	引越ターン者
111	駒手松陽高校高校に通う			筑波大学に通う				プロバスケットに入る							茨城県のプロバスケットに入る	転出者
112	公立の高校に通う			フランス				東京/調理学							東京/調理学	転出者
113	高校に通う			大学近くに住む/大学生、バイト				千葉/音楽に向けて勉強							千葉/多分心霊能について人を助けてる	転出者
114	高校に通う			大学に進学/大学生、バイトなど				千葉/資格を取ったり、勉強をする							千葉/テニスイ企業で働く	転出者
115	高校に通う			大学に行く!! Let's Go				東京/一人暮らし開始/就職							東京/会社員になって休みにゲームをする	-
116	県立第一高校進学			大学行く											一時的な生活	転出者
117	駒手松陽高校高校に通う														バスケットを教える	転出者
118	電ヶ崎第二高校に通う			2人住まい/新人として仕事をやっている											漫画家、つくば/Googleの人/音楽家	転出者
119	高校に通う														一人暮らし	転出者
120	高校にいます														一人暮らし	転出者
121	県立高校に通う														好きな仕事をしている	転出者
122	東京大学附属千代田高校に通う			大学による(在留)大学で学ぶ				どっかに上京/どっかでバイトor就職							利根町以外(千葉とか) 親戚家(スポーツに関わる)	転出者
123	県立高校に通う			利根町以外大学へ通う											保護士	転出者
124	駒手松陽高校(家庭科)														東京/パティシエ	転出者
125	駒手松陽高校高校に通う			看護系の大学											東京/看護師	転出者
126	駒手松陽高校			大学											東京	転出者
127	市立高校生			大学による(大学)なんでもする											千葉/スポーツショップ(サッカー関係)	転出者
128	県立高校に通学			人学進学(あれば恐竜について学べる)				恐竜について研究できる仕事につく							千葉/恐竜関係の仕事をしている	-
129	中央学院に通う			医学系の大学											東京/医学系	-
130	駒手松陽第二高校に通う			東京/国家試験の勉強				公務員になった/結婚							公務員	転出者
131	駒手松陽第一高校に通う			建築系の大学											京都/建築関係の仕事	転出者
132	駒手松陽高校														イタリヤ/料理士になる	転出者
133	千葉市立高校/高校生			どこか/人学生				どこか/社会人							茨城以外/結婚	-
134	駒手松陽第二高校に通う			県内or千葉/専門学校で保育について学ぶ				県内or千葉/保育士として働く								転出者
135	県立の高校に通う			何かの仕事に就く											利根町以外のどこか好きな仕事をしている。	転出者
136	電ヶ崎第二高校/音楽/バイト、音楽関係をする			バイト関係の専門にいく			21~25歳/監理士免許をとる/いいところまで働く								バイトのいいところと場所を巡る楽しい人	転出者
137	県立高校に通う			大学に行く			就職/20前半								利根町以外/美容師	転出者
138	電ヶ崎第二高校に通う			どっかの大学の近く/どっかの大学											利根町以外/仕事	転出者
139	駒手松陽高校に通う			音楽人学に通う				音楽に関わる仕事に就く							利根町以外/音楽に関わること	転出者
140	駒手松陽高校高校に通う			パソコンについて学ぶ				利根町以外の所で働く							関西/パソコンいじる人	-
141	バイトにのっている/半型			車にのって勉強とドライブ				結婚で一人暮らし							埼玉で車検車をとっている	-
142	ゲーム/家に行く			うまく行けば人学生/ゲーム				うまく行けば彼女or彼							絵あり/日本	-

④開催風景



4-4 第2回まちづくりワークショップ

①開催概要

日 時	令和6年2月17日（土）9：30～12：00
場 所	利根町図書館 多目的ホール
募 集 方 法	利根町 HP・メール等での広報、チラシの掲示、第1回 WS 参加者への電話連絡 ※申込は電話・メール・WEB 可
参 加 者 数	10名（参加応募者数10名）
テ ー マ	未来の利根町の次世代の担い手のために必要な取組を考えよう！
内 容	「まち」「ひと・しごと」の視点から、将来の担い手である若者に対して、必要なまちづくりの将来像を、これまでの他の WS 成果をまとめた参考資料を確認しながら、必要となる取組について意見を出し合う。

②当日資料

- ・スライド資料
- ・まちテーブル参考資料（第1回まちづくりワークショップ結果取りまとめ資料1・2）
- ・ひと・しごとテーブル参考資料（中学生ワークショップ（第2回）結果取りまとめ資料）
- ・テーブル共通参考資料（利根町まち・ひと・しごと総合戦略 事業一覧）
- ・まちづくりワークショップに関するアンケート

※上記資料の中から、抜粋しスライド資料を掲載する。

第2回まちづくりワークショップ

令和6年2月17日(土) 利根町図書館



次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 開催主旨等について
4. ワークショップ
5. 発表
6. 総評
7. 閉会

1

1. 開会

2

2. 挨拶

3

3. 開催主旨等について

4

(1)開催主旨

①総合振興計画とは
利根町を

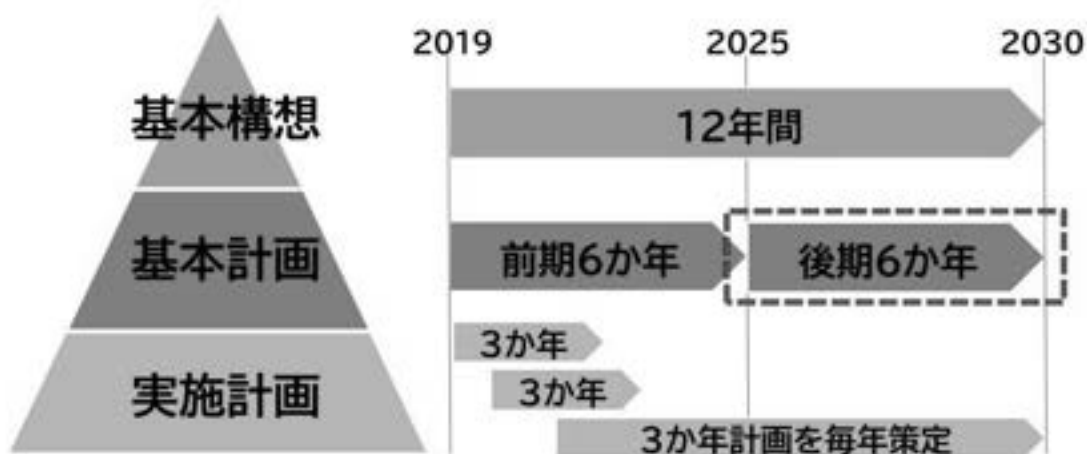


- どのような「まち」にしていくのか、
- そのために、どのような取り組みをしていくのか、
を総合的・体系的に計画としてとりまとめたもの

5

(1)開催主旨

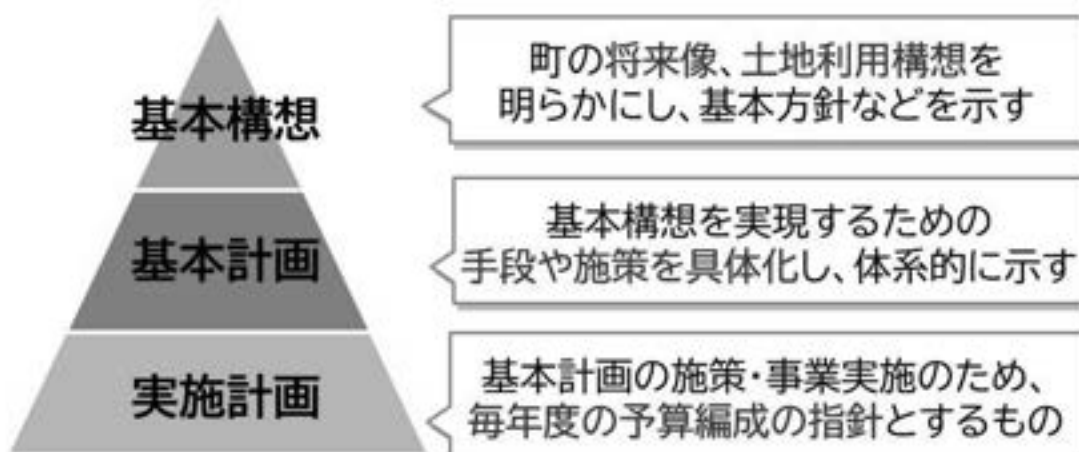
②計画の構成と期間



6

(1)開催主旨

②計画の構成と期間



7

(1)開催主旨

③前期基本計画について

計画の愛称
とね魅力アップビジョン

まちづくりの将来像

ともに創ろう
みんなが住みたくなるまち とね

まちづくりの基本方針

基本方針① 安全で人にやさしい快適なまちづくり

基本方針② いつまでも健康で元気あふれるまちづくり

基本方針③ 誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり

基本方針④ みんなが集まるおもしろいまちづくり

基本方針⑤ みんなが主役でともに進むまちづくり

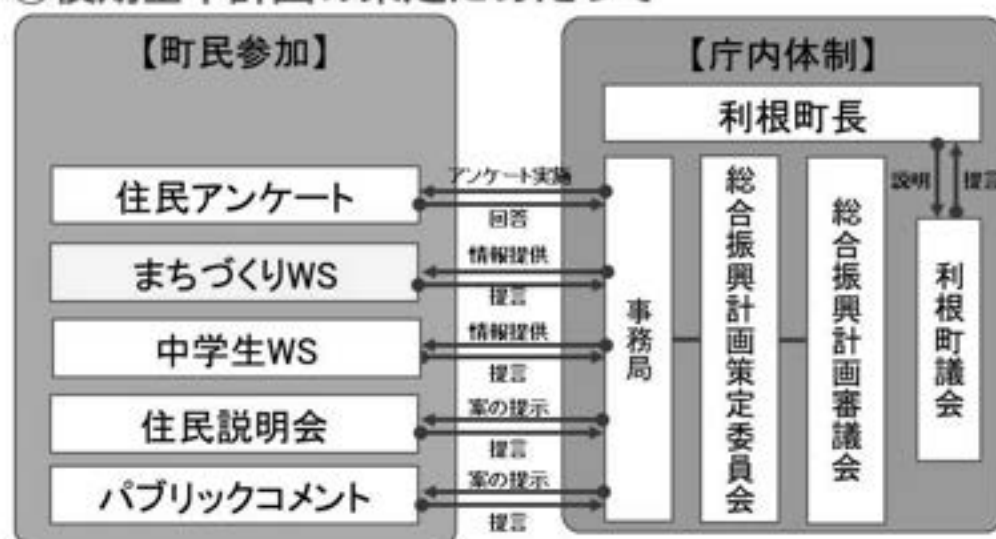
8

基本方針	基本施策
① 安全で人にやさしい 快適なまちづくり	1 快適な住環境の整備 2 環境対策の充実 3 道路・交通網の整備 4 安全で自然環境にやさしい上下水道の管理運営 5 防災対策の充実 6 防犯・交通安全の充実
② いつまでも健康で 元気あふれるまちづくり	1 健康づくりの推進 2 支え合う福祉の推進 3 みんなを支える社会保障制度の充実
③ 誰もが夢を持ち 輝き続けるまちづくり	1 子育て環境の充実 2 特色ある学校教育の推進 3 学びやすい生涯学習環境の整備 4 参加しやすい文化・スポーツ環境の整備
④ みんなが集まる おもしろいまちづくり	1 魅力ある産業振興 2 地域特性を活かした商工業の育成 3 活気あふれる交流・観光の推進
⑤ みんなが主役で ともに進むまちづくり	1 町民参加体制の充実 2 誰もが尊重される環境の整備 3 町民参加を進める広報・広聴の推進 4 効果的・効率的な行財政運営の推進

9

(1)開催主旨

④後期基本計画の策定にあたって



10

(2)まちづくりWSについて

①全体のテーマ

「20年後の利根町を考える」



人口予測等の利根町の状況

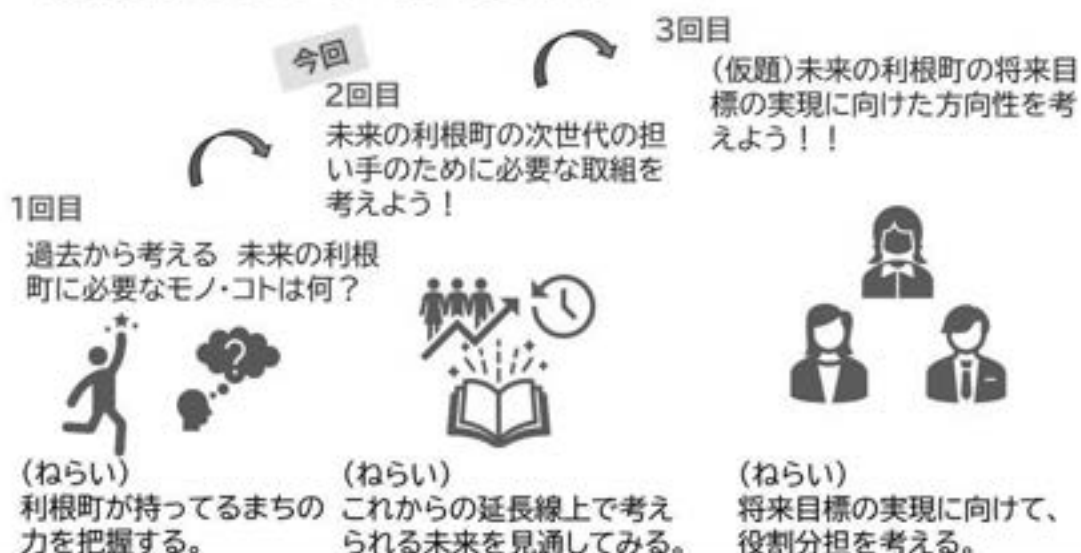


中学生ワークショップ

11

(2)まちづくりWSについて

②各回のまちづくりWSのテーマ



12

(2)まちづくりWSについて

WS開催概要-第1回まちづくりWS(11/18)

利根町から無くなったものや、ずっとあるもの、新しくできたものを踏まえて、将来の利根町で大事にしたいことを考えるWSを実施しました。



13

(2)まちづくりWSについて

WS開催概要-中学生WS(第1回1/22・第2回1/29)

ゲーム形式でまちづくりについて考えられるWS(第1回)と、自信が30歳になるまでの人生を考えながら、将来の理想の利根町の姿とその時の自分が町にできることを考えるWSを実施しました。



14

(2)まちづくりWSについて

ワークショップとは？

住民参加型のまちづくりにおいては、

自由に意見を出し合い、
お互いの理解を深め、
参加者の合意を得たりする

場(機会)として活用

本来の意味は
「作業場」
「工房」

15

(2)まちづくりWSについて

ワールドカフェとは？

他のテーブルとメンバーを変えながら、話題となるテーマを発展させていくワークショップの方式。



16

(2)まちづくりWSについて

第2回まちづくりWSのテーマ

「未来の利根町の次世代の担い手のために
必要な取組を考えよう！」



17

(2)まちづくりWSについて

④各テーブルのテーマ



18

まち・ひと・しごと って？

人口急減・
超高齢化
への対応

まち・ひと・しごと創生法の概要

まち



国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

ひと



地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

しごと



地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

19

(3)話合いの進め方

①討議の進め方

- 第1・2討議：各テーブルのテーマについて意見交換
- 第3討議：未来の利根町に向けて時間軸で取組を整理



20

■各討議の流れ(第1討議～第2討議)

①自己紹介及び意見の書き出し(5分)

- 簡単な自己紹介とテーブルテーマについて意見書き出し

※第2討議では付箋の読み込み

書き方例

廃校の活用

観光スポットとなる施設にして町に興味を持ってもらうを増やす！

②意見交換(10分)

- ワークシートに貼られた付箋を参考に意見交換

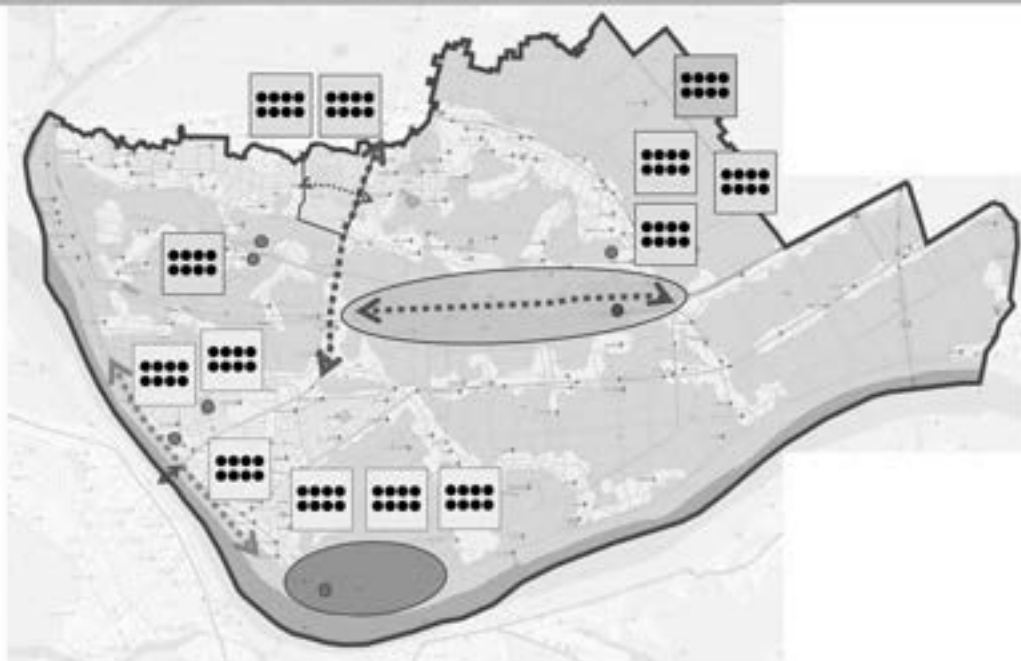
③意見のまとめ(5分)

- 次の人達にわかるよう意見(付箋)を整理

休憩・席移動(5分)

21

「まち」テーブル 成果イメージ



22

「まち」テーブル 参考資料1

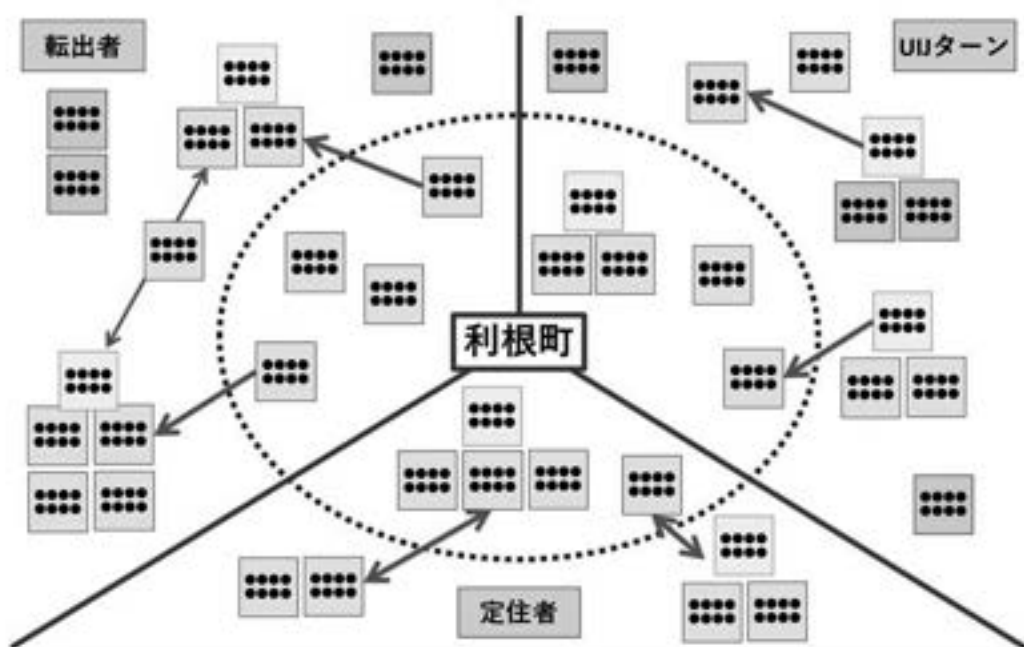
第1回まちづくりWSの内容

中学生WS



25

「ひと・しごと」テーブル 成果イメージ



26

「ひと・しごと」テーブル 参考資料

中学生WS (第2回)の内容

〇歳(の時)、
どこで、
何をしているか

27

「ひと・しごと」テーブル 参考資料

中学生が各年齢で過ごしたい場所

利根町 県内 関東 国内 海外 未定※

	STEP1/年齢									タイプ
	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	
		とりあえず働く							利根町にいる	定住者
		仕事に就職/結婚							服飾or美容関係の仕事	定住者
									公務員	定住者
									医療系or公務員	転出者
とか海外		筑波、一人暮らし医療関係かなにか							筑波/一人暮らし	転出者
		ウェディングプランナーになる							ウェディングプランナーになる	転出者
		茨城の学校で働く							学校の先生	転出者
		東京付近/戸巻の事務所などで働く							声優として働いている	転出者
		東京都/都内の総合病院で働く							東京都/看護士	転出者
		東京/社員							東京/どこかの会社で働く	転出者

28

■各討議の流れ(3討議)

①討議内容の確認と意見交換(5分)

- これまでの討議内容(付箋)の読み込み

②意見交換(15分)

- 付箋を時間軸で整理

すぐに実施したい取組→ → → → ●

少し先の未来で実施したい取組→ → ●

いつかは実現したい取組→ → → → ●

③意見のまとめ(10分)

- 発表に向けて意見を整理

29

「まち」・「ひと」・「しごと」テーブル共通 参考資料

■利根町まち・ひと・しごと総合戦略 事業一覧

参考資料

基本目標1 とことん子育て応援「TONE」プロジェクト

(1) 子どもの保育・育後の拡充	
1 放課後児童対策事業	越前留守家庭となる小学校に就学している児童を対象に、学校放課終了後や長期休業中に子どもを預かる放課後児童クラブを運営
2 病児保育事業	病児の治療中又は回復期で、入浴の必要はないが安静を必要とする場合に、保育所などの集団保育や家庭での保育ができない期間、一時的に預かる保育の実施
3 一時預かり事業	保育所等を利用していない家庭で、一時的に保育することが困難となった乳幼児を保育所等で一時的に預かる事業の実施
(2) 子育て世代が暮らしやすい環境づくり	
4 子育て情報発信事業	町公式ホームページのトップページに情報を集約したページ「子育て支援」により、子育て支援等の情報発信。また、窓口等で「子育て支援ガイドブック」により、わかりやすい情報を提供
5 妊産婦・乳幼児の健診相談訪問事業	妊産婦・乳幼児・乳幼児に対する健康診査・育児相談・訪問指導を実施するほか、特に健康診断や育児等の支援が必要な妊産婦に対しては、早い段階から家庭訪問等の個別支援を実施
6 親子療育指導・相談事業	乳幼児健診後の精神発達面での心理的定着による親子相談や親子発達支援事業を実施するほか、幼稚園・保育所の巡回相談・就学相談の実施
7 子育て世代包括支援センター(母子保健型)事業	要支援妊産婦を早期に見出し、安全安心な出産と児童虐待予防等を図るため、保健師等が専門的な見地から母子保健や育児に関する様々な悩み等に対して相談等を実施
8 ワーク・ライフ・バランス推進事業	ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、広報誌や町公式ホームページ等を通じて育児・情報発信を実施
9 ブックスタート事業	3・4ヶ月健診時に、ボランティアによる絵本読み聞かせ及び絵本2冊をファーストブックとして贈呈。また、小学校1年生には本1冊を贈呈

30

「まち」テーブル 参考資料2

20年後の利根町で大事にしたいものBEST3

■「まち」テーブル参考資料2

※1. 発表者3人1グループ、発表時間10分以内、発表内容20分以内

発表者	発表内容	発表内容	発表内容	その他（備考）
2020年度発表 発表者3人1グループ 発表時間10分以内	発表者のイベント ・ 発表者自身 ・ 発表者自身 ・ 発表者自身	発表者自身 ・ 発表者自身 ・ 発表者自身	発表者自身 ・ 発表者自身 ・ 発表者自身	発表者自身
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
2020年度発表 発表者3人1グループ 発表時間10分以内	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
2020年度発表 発表者3人1グループ 発表時間10分以内	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容
	発表者の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容	発表者自身の発表内容

31

■発表について

- ご自身の班が呼ばれたら、全員で発表用ボードの前に移動してください。
- 司会が「はじめてください」とお声かけしますので、発表者の方、発表をお願いします。
- 発表が終わったら記念撮影をします。その後、元の席にお戻りください。

32

★意見交換のポイント

- *積極的に自分の意見を出してみましょう。
- *なるべく多くの人が意見を出せるように発言は簡潔に心がけましょう。
- *自分と違う意見も尊重し、相手の意見を否定しないようにしましょう。
- *自由に意見を述べます。間違っているかな？など考える必要はありません。
- *できるだけ多くのアイデアを出しましょう。人と同じでもかまいません。
- *他人の意見を受けとめて、さらにそれを発展させます。

33

4. まちづくりワークショップ

34

スクリーン側

入
口

「まち」
テーブル

「ひと・しごと」
テーブル

後ろ側

35

5. 発表

36

6. 総評

37

次回WSのお知らせ

	開催日	場所	テーマ
第3回	令和6年 3月16(土) 9:30～	利根町 文化センター	未来の利根町の将来目標 の実現に向けた方向性を 考えよう！！

～是非ご参加ください～

38

7. 閉会

③当日のワーク結果

【まちテーブル】



【ひと・しごとテーブル】



■ワーク結果を一覧にまとめたもの

※第3回まちづくりワークショップ資料（第2回WS結果取りまとめ（一覧））より

補足：下記は第2回ワークショップで付箋に記載された内容を、第3回ワークショップ用に正文化したものである。

資料3

■まちグループ 第2回まちづくりWS成果取りまとめ

ID	目的	手段
1	子どもが自然の中で多様な体験ができる場所づくり	子ども達が体を動かして遊ぶことができるアスレチックを整備 公園だけでなく自然環境の中で遊べるようなアスレチックを整備
2	子どもがスポーツができる居場所づくり	了とも達が屋外でスポーツができるような施設の整備 若者が集えるスケートボード場の整備 子ども達がスポーツができる場所を確保するため、未使用の敷地を運動場として開放
3	ICTツールを活用した次世代のコミュニケーションが体験できる場所づくり	これからのコミュニケーションのためパソコンやプログラミングなどのICTツールに関する講座を開設 e-sportsの設備が整った若者が集える拠点の整備
4	外国人との国際交流のコミュニケーションが体験できる場所づくり	子どもや大人が語学学習などを通じて国際体験ができるような講座を開設 町内の外国人とコミュニケーションが取れる機会の創出 ウェルネススポーツ大学の外国人学生を講師とした語学講座の開設
5	地域の憩いのお店の応援や場所づくりのための仕組みづくり	公共施設の中に地域で運営できるような憩いの場となるカフェを開設 公共施設の民間委託により柔軟な活用を図る ゴミの管理が行き届いていない公園を地域の人々で管理し地域の憩いの場として活用を図る 町内の人達の憩いの場となるような低価格な個店が継続的に営業できるように応援 誰もが気軽に立ち寄れるロッキーバーガーのようなお店を大切にする ママ友同士でお茶やランチを気軽に利用できるような場所が欲しい
6	安全で衛生的な環境づくり	歩道橋の補修による安全な通学路の確保 信号の適切な設置などによる安全な通学環境の確保 公園の設備をきれいにする
7	町外から人を呼び込むことのできる魅力あるイベント開催	公園でのキッチンカー出店による賑わいづくり 「わんでらす」のような町外からも人が集まるようなイベントを開催 町外の人達に利用してもらうまちのPRとなるような場所を整備
8	企業誘致を通じた魅力づくりと地域への新たな変化	誘致した企業による利根町の名品づくり 若い人達が集うような教育機関を廃校を活用し誘致

■ひと・しごとグループ 第2回まちづくりWS成果取りまとめ

ID	目的	手段
1	町民も行政も事業者も 意識が変わる仕組みづくり (学び合い・スキルアップ・活性化)	(自ら地域を創っていくという主体性のある)住民の意識の向上 (町民にも頼まれ、地域のために高い成果を上げる)行政の意識の向上 学び合う場 …まちの活性化のために町民同士がお互いに切磋琢磨する環境 生活力や社会力を高める地域の人材教育(スキルアップ) 一般法人の農業参入を促めるなど、さらなる農業の活性化を
2	利根愛を育て、 町を創る力にしてい く仕組みづくり	町に対する愛着を高め町の為に何かしようという思いを育てる取組 町の活性化や地域振興に貢献できる人材の育成
3	利根町の外の力を活かした 地場産業や地域コミュニティの活性化	魅力あるお米づくり …Uターン者による新たな農業従事者の新規参入 新しい風を農業に取り入れる …農業分野で活躍する方々(利根出身者も含む)との交流 お祭り体験 …担が手として参加など町内のお祭りを地元住民になりきって体験 友好都市事業 …町とゆかりのある自治体と友好都市の協定を結び様々な交流事業を実施
4	利根町産の農産物の魅力度アップ (商品化・ブランド化)	魅力あるお米づくり …需要・マーケットニーズに対応した創業者であるお米づくり 町内で商品化まで可能な6次産業の仕組みづくり …ご飯パック(とねの穂)は町外で製造 町のお米のブランド化を …(例)御用のお米(利根町産)で育つ豚のお肉を"利根豚"として商品化 個性や特徴のあるお米のブランド化 …(例)耐旱性のあるお米の品種 自家用の栽培品目(枝豆など)の商品化を
5	ライフステージに合わせた切れ目のない 支援	子育てにやさしい環境づくり …子育て家庭への支援制度や子育て世帯や住みやすい住環境づくり 子育てのフェーズに合わせた連続性のある継続性のあるサポート制度の充実 子どもの年齢に応じた支援制度の充実 …習いごと・卒など 子育てのニーズに合わせた戻途なサポート制度の充実
6	町の新たな"価値"を生み出す取組 (空き施設の有効活用・オンリーワンのス ポットづくり)	空き校舎の活用 …文小小学校及び文間小学校の学校跡地利活用方針の早期実現 周辺の都市に無いスポット(施設など) …アスレチックなど
7	子ども×体験の場から 新たな気づき・発見をつくる	地域の仕事を知る交流事業 …町内外での職場体験の充実(小学生、中学生向け) 町の価値を知る交流事業 …近隣大学の協力による体験活動(小学生、中学生向け) 都会の子供の受け入れ(体験農業) …農家の方と若い人との交流(地元農業者にとっても新しい発見)
8	利根に住み続けたいくなる ライフスタイルの充実 (転入増・転出減・幸福度UP)	空き家活用とソフト事業をパッケージ化 …空き家活用×子育て支援制度 図書館の充実 …若い利用者のニーズに対応したサービスの拡充(マンガ・ほしい本の購入・カフェ) 奨学金制度の効果的な運用 …定住施策と連携した制度に(長期の定住期間の条件等) 出会い創出事業 …(いばらき出会いサポートへの参加に加え)町内での婚活パーティー等(回款)を増やす

④開催風景



4-5 第3回まちづくりワークショップ

①開催概要

日 時	令和6年3月16日（土）9：30～12：00
場 所	利根町文化センター 研修室
募 集 方 法	利根町 HP・メール等での広報、チラシの掲示、第1回・第2回 WS 参加者への電話連絡、地域おこし協力隊への協力 ※申込は電話・メール・WEB 可
参 加 者 数	12名（参加応募者数13名）
テ ー マ	利根町の将来目標の実現に向けた方向性を考えよう！
内 容	第2回で出し合った意見（取組）をもとに、「何のために（目的）」「何をするのか（手段）」を、不足している取組がないかの確認も踏まえて改めて再整理し、利根町の将来に向け最終目標を確認する。

②当日資料

- ・スライド資料
- ・利根町総合振興計画の取り組み成果
- ・第2回 WS 結果取りまとめ（一覧・ワークシート結果）
- ・外のチカラを町のために活かす取組事例集
- ・まちづくりワークショップに関するアンケート

※上記資料の中から、抜粋しスライド資料を掲載する。

第3回まちづくりワークショップ

令和6年3月16日(土) 利根町文化センター



次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 開催主旨等について
4. ワークショップ
5. 発表
6. 総評
7. 閉会

1

1. 開会

2

2. 挨拶

3

3. 開催主旨等について

4

(1)開催主旨

①総合振興計画とは
利根町を

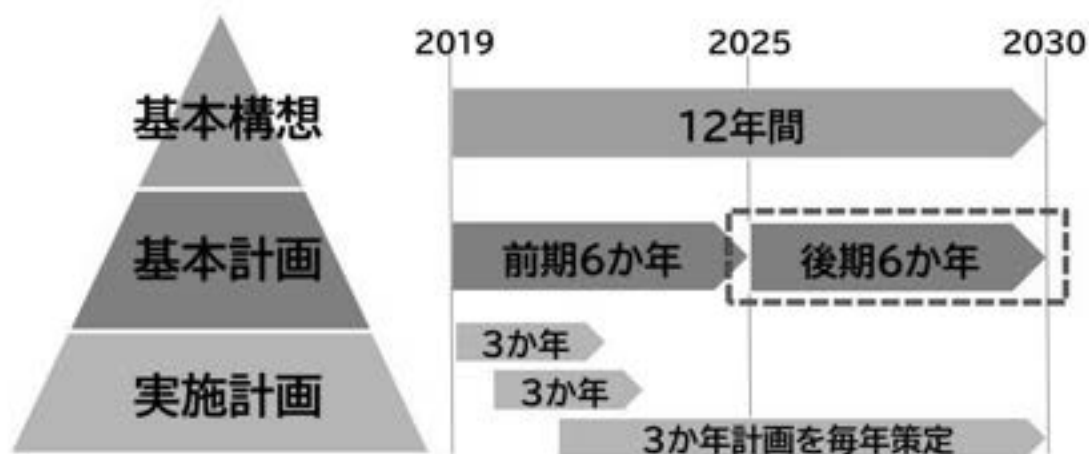


- どのような「まち」にしていくのか、
- そのために、どのような取り組みをしていくのか、
を総合的・体系的に計画としてとりまとめたもの

5

(1)開催主旨

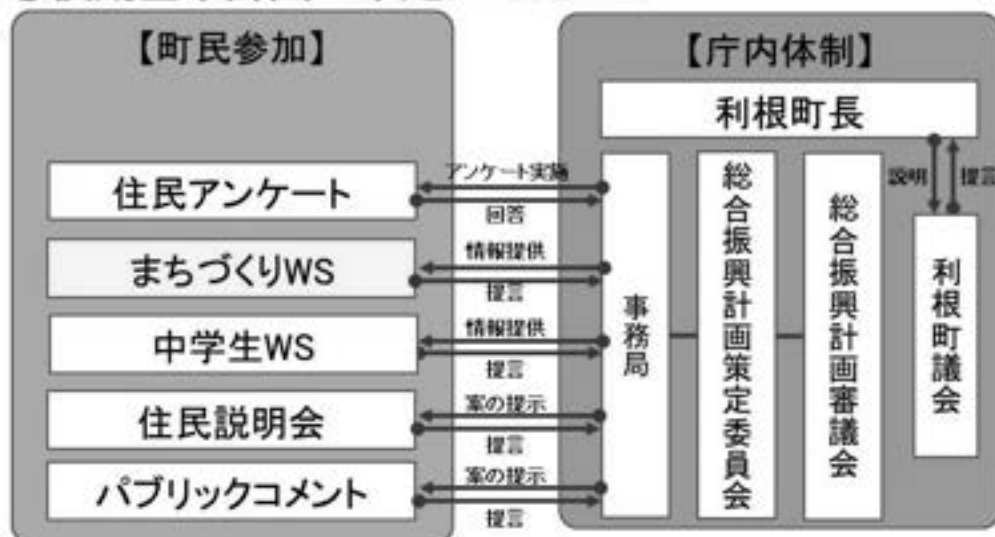
②計画の構成と期間



6

(1)開催主旨

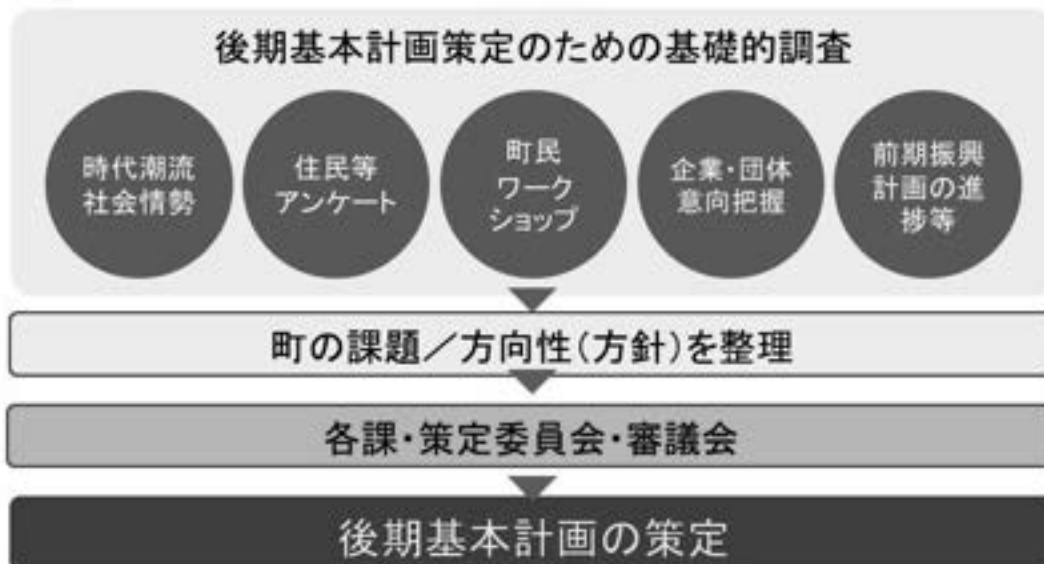
④後期基本計画の策定にあたって



9

(1)開催主旨

⑤WSでいただいたご意見について



10

(2)まちづくりWSについて

①全体のテーマ

「20年後の利根町を考える」



人口予測等の利根町の状況

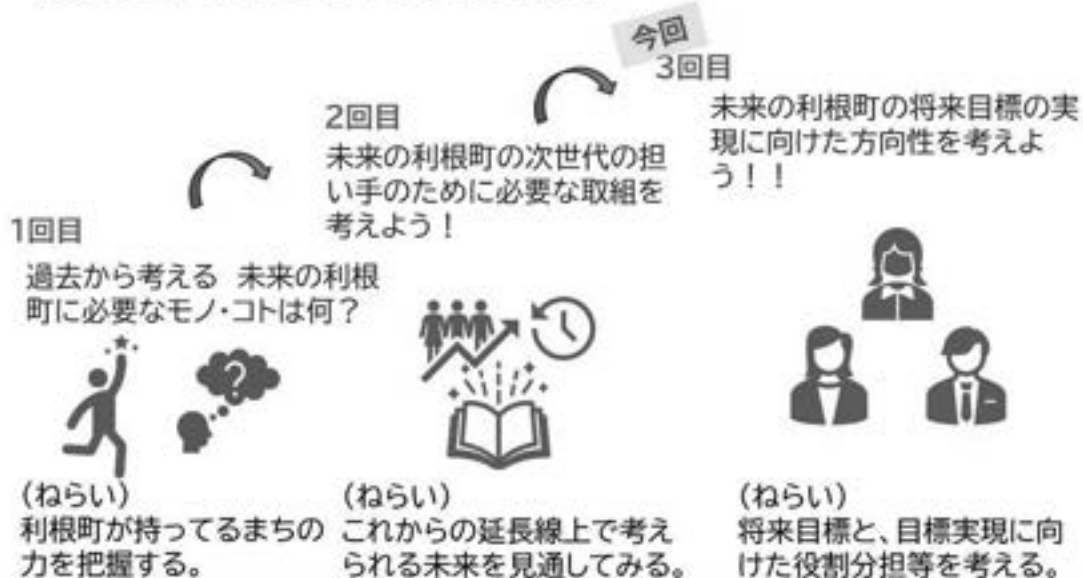


中学生ワークショップ

11

(2)まちづくりWSについて

②各回のまちづくりWSのテーマ



12

(2)まちづくりWSについて

ワークショップとは？

住民参加型のまちづくりにおいては、

自由に意見を出し合い、
お互いの理解を深め、
参加者の合意を得たりする

場(機会)として活用

本来の意味は
「作業場」
「工房」

13

(2)まちづくりWSについて

ワールドカフェとは？

他のテーブルとメンバーを変えながら、話題となるテーマを発展させていくワークショップの方式。



14

(2)まちづくりWSについて

第2回WSの振り返り(2/17)

利根町の次世代の担い手のために、今後実施していきたい取組のアイデアについて、「まち」と「ひと・しごと」の2つのテーブルに分かれて意見を出し合い、そして、その取組をいつまでに実施したいかを考えてもらいました。



15

まち・ひと・しごとって？

人口急減・
超高齢化
への対応

まち・ひと・しごと創生法の概要

まち



国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

ひと



地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

しごと



地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

16

第2回WSの成果 [まちテーブル]



17

第2回WSの成果 [ひと・しごととテーブル]



18

(2)まちづくりWSについて

第2回まちづくりWSのテーマ

「利根町の将来目標の実現に向けた
方向性を考えよう！！」



19

(2)まちづくりWSについて

④各テーブルのテーマと話し合いの進め方



第1討議：今座っているテーブルで意見交換

第2討議：もう一つのテーブルで意見交換

第3・4討議：今座っているテーブルに戻り、意見交換

20

■各討議の流れ(第1討議、第2討議) [15分~20分]

①前回振り返り

↓
前回意見を「目的(何のために)」と「手段(何をするのか)」
に分けて整理した台紙・カード確認

②追加したいもの・不足しているものを書き出す

↓

第1討議 は桃色の 付箋に	第2討議 は水色の 付箋に	※第2討議では、第1討議(黄色)の付箋は 動かしません。同じ意見でも目的または手 段の位置が違うものがあれば、新たに水色 の付箋に書き貼り付けます。
---------------------	---------------------	---

③意見交換

席移動

21

成果イメージ

■ワークシート

未来の利根町の将来目標の實現に向けた方向性を考えよう！

目的 (何のために?)

手段 (何をするのか?)

台紙 (目的と手段)

22

不足している取組 ～外のチカラを町のために活かす取組事例～

①町外とつながる場をつくる取組	②転出した人が町のために活躍してもらう取組	③Uターン者の町外とのつながりを生かした取組
小布施バーチャル町民会議		
実施自治体:長野県小布施町 運営:小布施町総合政策推進室と地域おこし協力隊により企画 住民の役割:地域にある課題について町外の人と一緒に考える		

小布施町に拠点を置く企業・団体と全国から集う参加者(バーチャル町民)が力を合わせ、新規事業開発や課題解に取り組む



出典:<https://virtual-obuse.com/2021/>

▶▶▶ ①のその他の事例:資料4 P2「住民票を兼ねたNFTの発行プロジェクト」

23

不足している取組 ～外のチカラを町のために活かす取組事例～

①町外とつながる場をつくる取組	②転出した人が町のために活躍してもらう取組	③Uターン者の町外とのつながりを生かした取組
30歳の大同窓会 in 前橋		
実施自治体:群馬県前橋市 運営:各中学校代表が実行委員会となり運営(前橋市や地元企業等が後援) 住民の役割:同窓会への参加、協力		

社会の中心を担い始めた年代同士で結び付き、ビジネスや情報交換、出会いのきっかけとしてもらうことで、地域活性化を目指す。



出典:<https://virtual-obuse.com/2021/>

▶▶▶ ②のその他の事例:資料4 P4「ふるさとプロボノ」

24

不足している取組 ～外のチカラを町のために活かす取組事例～

①町外とつながる場をつくる取組

②転出した人が町のために活躍してもらう取組

③U/Iターン者の町外とのつながりを生かした取組

耕すシェフ

実施自治体：島根県邑南町

運営：一般社団法人邑南町観光協会

住民の役割：地域の食文化を学ぶ、料理人の移住先(空き家等居住場所)の斡旋

都市部から料理人をを目指す若者を受け入れ、学んでもらう。卒業後は町内で起業し、町の農産物を活用し自らの店で提供してもらう取り組み



出典：<https://mebuku.city/news/play/post-28318/>（前橋新聞より）

▶▶▶ ③のその他の事例：資料4 P6「にいがたイナカレッジ」

25

■第3討議の流れ[15分]

①第2討議の内容確認

②大きな目的について整理

③最終目標を整理

第3討議は黄色の付箋に



④実現に向けてやれそうなことを整理

やれそうなことのところにシールを貼ります→

26

■第4討議の流れ[25分]

①みんながやれそうと感じた「目的」を最終的な目標に設定



27

②③実現に向けてやっていくことを書き出し、段階的に整理



28

④必要な役割分担を整理



29

★意見交換のポイント

- *積極的に自分の意見を出してみましょう。
- *なるべく多くの人が意見を出せるように発言は簡潔に心がけましょう。
- *自分と違う意見も尊重し、相手の意見を否定しないようにしましょう。
- *自由に意見を述べます。間違っているかな？など考える必要はありません。
- *できるだけ多くのアイデアを出しましょう。人と同じでもかまいません。
- *他人の意見を受けとめて、さらにそれを発展させます。

30

4. まちづくりワークショップ

31

5. 発表

32

6. 総評

33

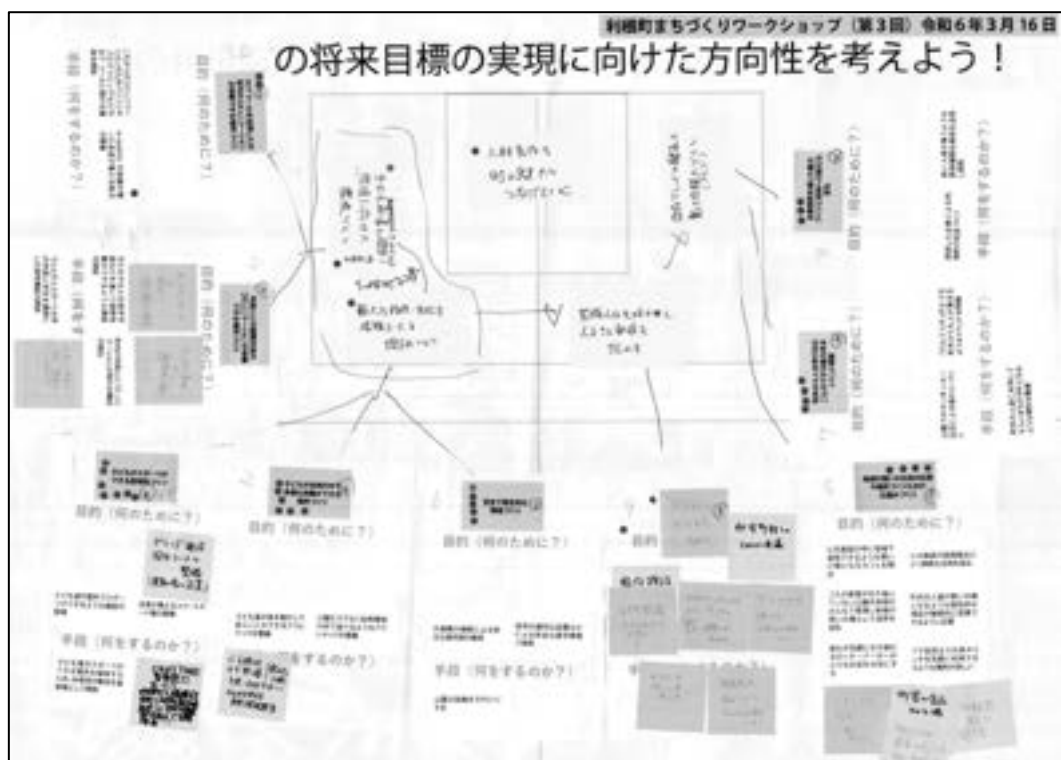
7. 閉会

34

③当日のワーク結果

【まちテーブル】

ワークシート 1



ワークシート 2

STEP 1 STEP 2 STEP 3

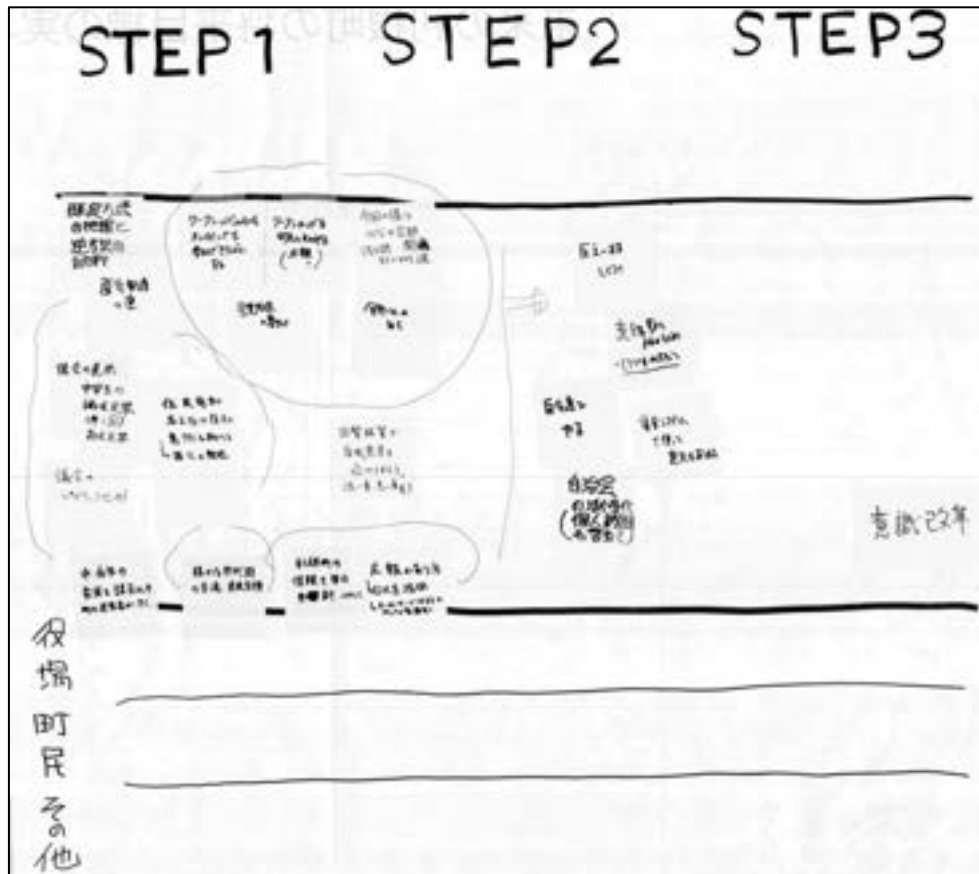
子どもが自然の中で
各種の体験をする場所づくり



ワークシート 1



ワークシート 2



■ワーク結果を一覧にまとめたもの
【まちテーブル】

まちテーブル ワークシート 1 の内容

白色セル：第2回WSの内容を整理したもの 黄色セルが第3回WSで追加された付箋内容

目的 1	目的 2	ID	目的 3	手段
人材育成を町の魅力につなげていく	子どもの発達と健康増進に向けた環境づくり	3	ICTツールを活用した次世代のコミュニケーションが体験できる場所づくり	これからのコミュニケーションのためパソコンやプログラミングなどのICTツールに関する講座を開設 e-sportsの設備が整った若者が集える拠点の整備
		4	外国人との国際交流のコミュニケーションが体験できる場所づくり	子どもや大人が語学学習などを通じて国際体験ができるような講座を開設 町内の外国人とコミュニケーションが取れる機会の創出 ウェルネススポーツ大学の外国人学生を講師とした語学講座の開設 オンラインツールを使った学習機会の提供 デジタル教材やSNSの活用 小さいころから文化に触れさせる
	新たな技術・文化を体験できる場所づくり	1	子どもが自然の中で多様な体験ができる場所づくり	子ども達が体を動かして遊ぶことができるアスレチックを整備 公園だけでなく自然環境の中で遊べるようなアスレチックを整備 山（使わない山地）を使ったヤギ牧場 ・子供ー子ヤギ かわいい
		2	子どもがスポーツができる居場所づくり	子ども達が屋外でスポーツができるような施設の整備 若者が集えるスケートボード場の整備 子ども達がスポーツができる場所を確保するため、未使用の敷地を運動場として開放 グラウンド施設周囲コースの整備（運動場の設置） とねまちTONE音楽会において利根町と隣接する市町（河内町、龍ヶ崎、取手）と合同吹奏楽部を組んで招待演奏
		6	安全で衛生的な環境づくり	歩道橋の補修による安全な通学路の確保 信号の適切な設置などによる安全な通学環境の確保 公園の設備をきれいにする
		5	地域の憩いのお店への応援や場所づくりのための仕組みづくり	公共施設の中に地域で運営できるような憩いの場となるカフェを開設 公共施設の民間委託により柔軟な活用を図る ゴミの管理が行き届いていない公園を地域のみんなで管理し地域の憩いの場として活用を図る 町内の人達の憩いの場となるような個性的な個店が継続的に営業できるように応援 誰もが気軽に立ち寄れるロッキバーガーのようなお店を大切にする ママ友同士でお茶やランチを気軽に利用できるように場所が欲しい とむとむ 町外 祭り 担ぎ手 町営の食品加工工場 町としての産業のビジョンを町で決める 後継者不足
		7	町外から人を呼び込むことのできる魅力あるイベント開催	公園でのキッチンカー出店による賑わいづくり 「わんでらす」のような町外からも人が集まるようなイベントを開催 町外の人達に利用してもらいまちのPRとなるような場所を整備
		8	企業誘致を通じた魅力づくりと地域への新たな変化	誘致した企業による利根町の名品づくり 若い人達が集うような教育機関を廃校を活用し誘致
	関係人口を増やしふるさと納税を増やす	9	町外とかかわるための機会づくり	他市町村とのzoom会議 宿泊施設 Web会議できるスペースがほしい SNSやデジタル疲れ 仕事はデジタルで効率化し、生活の質は健康やすこやかに 神輿の担ぎ手で町外と関わり 外とつながれる 働ける 仕組みか場所づくり 移住者がチャレンジし外の人材を呼び込む

■まちテーブル ワークシート 2 の内容
目標 子どもが自然の中で多様な体験ができる場所づくり

	STEP1			STEP2			STEP3		
	意識づくり (ケガ・不安・教育)	多様な (具体的に) 体験	場所の決定	芝生化	アスレチックの内容を決定させる	プレイコーチ⇒地域X村	効果測定 (する?)	マニュアル各種	
安全面 (保険)		選択性	廃校活用	遊具購入	用水が完備されてきて、ザリガニ取りや、めだか取りができる場所が減ってきている	スポーツクラブとの協力	体力測定	雨天時 (イレギュラー対応)	
		子どもたちにどういった場所が欲しいのかアンケート (アスレチックの件)	大きな広場が必要 管理をきちんとする	昔懐かしい遊びがあればそれを教えてくださる方をお願いし、子どもたちに教えてくれる方	町の地形を利用して、高台アスレチックができる (自然な遊具を作る)	アスレチックリーダーを募る			
			スポーツ公園		公園の整備				
			選定サポーターと修繕のサポーター		公園の砂場				
					タイヤ (タイヤじゃんけん)				
					何も無い広場 (裸足で遊べる)				
					アナログな遊びができる				
					鬼ごっこ、ボール遊び				
役場	説明会	ボランティア募集	場所の決定		アスレチック内容の決定	・スポーツ協会に指導依頼 ・レクリエーション ・障害者スポーツ指導員 ・スポーツ指導員登録者に依頼 ・資格のある方に協力し		視察報告	
町民		小中学生へのアンケート		町民の方からの協力					
その他	スポーツ保険 (会社)	未就学児の先生方へのアンケート		・クラウドファンディングで遊具購入 ・実施実績のある民間企業から購入		・スポーツ推進委員 出前講座 ・プレイコーチ外部	大学連携	他市町村 参考	

【ひと・しごととテーブル】

■ひと・しごととテーブル ワークシート 1 の内容

白色セル：第2回WSの内容を整理したもの 黄色セルが第3回WSで追加された付箋内容

目的	ID	目的	手段	
進化する利根に	1	新しい技術を使ったサービスの展開	PayPay等行政の中でも活用できるツールが無いが試験的にもやってもらいたい・・・ スマホでのキャッシュレス決済が増えるため、若い人を中心に魅力がふえる	
	2	先進事例を生かしたまちづくりの新たな展開	程よい人口増 阿見町に移住した人を呼んでどんな点で魅力を感じたか参考に	
	3	町民も行政も事業者も意識が変わる仕組みづくり (学び合い・スキルアップ・活性化)	住民が自分達で町を動かしているという意識を高める為、DXを利用した参加 (自ら地域を創っていくという主体性のある) 住民の意識の向上 (町民に信頼され、地域のために高い成果を上げる) 行政の意識の向上 学び合う場 …まちの活性化のために町民同士がお互いに切磋琢磨する環境 生活力や社会力を高める地域の人材教育 (スキルアップ) 議員と行政の真剣味と意識を増すための取り組み 一般法人の農業参入を進めるなど、さらなる農業の活性化を	
	進化する利根 × 稼ぐ産業への転換			
	稼ぐ産業への転換	4	利根町産の農産物の魅力度アップ (商品化・ブランド化)	AIによる ・ 農業改革 ・ 高率農業 有機米であるステビア米 (@旧文間小付近で実施) のブランド化 魅力あるお米づくり …需要・マーケットニーズに対応した創意工夫あるお米づくり 町内で商品化まで可能な6次産業の仕組みづくり …ご飯パック (とねの穂) は町外で製造 町のお米のブランド化を …(例) 飼用のお米 (利根町産) で育つ豚のお肉を”利根豚”として商品化 個性や特徴のあるお米のブランド化 …(例) 耐暑性のあるお米の品種 自家用の栽培品目 (枝豆など) の商品化を 6次産業化への取り組み (米粉の製造など町における加工施設) 低価格製粉機による打立てひきたて粉によるソバ、パンによる町外顧客の引込み 農業の方が子供に仕事を続けてもらえる様に育ててほしい。 都市部への食材提供 農業米にこだわらず他の農作物を名産品にしてはどうかEx神栖市ピーマンのまち 米・日本酒のブランド化、法人化→空き家活用 町のアンテナショップを都市部へ
稼ぐ産業への転換 × 外から呼び込む 交流の場づくり	5	利根町の外の力を活かした 地場産業や地域コミュニティの活性化	お祭り体験 …担ぎ手として参加など町内のお祭りを地元住民になりきって体験 友好都市事業 …町とゆかりのある自治体と友好都市の協定を結び様々な交流事業を実施 魅力あるお米づくり …UIターン者による新たな農業従事者の新規参入 新しい風を農業に取り入れる …農業分野で活躍する方々 (利根出身者も含む) との交流	
	6	町の新たな”価値”を生み出す取組 (空き施設の有効活用・オンラインのスポットづくり)	30才の大同窓会の発展 ビジネスマッチング 外部とのつながり＝宿泊施設(民泊等)を造る 空き校舎の活用 …文小学校及び文間小学校の学校跡地活用方針の早期実現 周辺の都市に無いスポット (施設など) …アスレチックなど	
	7	利根町の外の力を活かした 地場産業や地域コミュニティの活性化	お祭り体験 …担ぎ手として参加など町内のお祭りを地元住民になりきって体験 友好都市事業 …町とゆかりのある自治体と友好都市の協定を結び様々な交流事業を実施 魅力あるお米づくり …UIターン者による新たな農業従事者の新規参入 新しい風を農業に取り入れる …農業分野で活躍する方々 (利根出身者も含む) との交流	

外から呼び込む 交流の場づくり	8	子ども×体験の場から 新たな気づき・発見をつくる	利根川レガタ ・町内大学のコーチ ・利根中からオリンピック選手 子どもたちのためにプロの方を招いて指導をうける音楽、スポーツ趣味的なもの 地域の仕事を知る交流事業 ー町内外での職場体験の充実（小学生、中学生向け） 町の価値を知る交流事業 ー近隣大学の協力による体験活動（小学生、中学生向け） 都会の子供の受け入れ（体験農業） …農家の方と若い人との交流（地元農業者にとっても新しい発見）				
外から呼び込む 交流の場づくり × これからを担う町民が暮らしやす いまちづくり	9	利根に住み続けたいくなる ライフスタイルの充実 （転入増・転出減・幸福度UP）	奨学金制度の効果的な運用 …定住施策と連携した制度に（長期の定住期間の条件等） 出会い創出事業 …（いばらき出会いサポートへの参加に加え）町内での婚活パーティー等（回数）を増やす 奨学金制度を利用している人から体験談を聞く会を催す				
これからを担う町民が 暮らしやすく、町を好き になってもらうまちづくり ※これからを担う町民：若者・子ども			空き家活用とソフト事業をパッケージ化 …空き家活用×子育て支援制度 図書館の充実 …若い利用者のニーズに対応したサービスの拡充（マンガ・ほしい本の購入・カフェ） グラウンド（運動場）の施設＝陸上競技場周回コースの整備				
			10	ライフステージに合わせた切れ目のない 支援	子育てにやさしい環境づくり …子育て家庭への支援制度や子育て世帯や住みやすい住環境づくり 子育てのフェーズに合わせた連続性のある継続性のあるサポート制度の充実 子どもの年齢に応じた支援制度の充実 …習いごと・塾など 子育てのフェーズに合わせた最適なサポート制度の充実 子どもの教育を充実・ここに住めばIT教育が早期に受けられる。・塾に行かなくても英語が話せるようになる 「体づくりの町利根」 総合型クラブの運営		
					11	頑張る人を応援し、利根愛を育て、 町を創る力にしてい く仕組みづくり	若い人が魅力を感じてもらうためにウェルネス大学で注目された功績を挙げた人へ還付型給付金など 町に対する愛着を高め町の為に何かしようという思いを育てる取組 町の活性化や地域振興に貢献できる人材の育成

■ひと・しごとテーブル ワークシート2の内容

STEP1				STEP2	STEP3
規定方法の把握と逆方向の試行	ワークショップそのものをオンラインでも参加できるようにする	閲覧板等で自由に意見を述べてもらう（良い事、悪い事等）	反映する仕組み		
選挙制度の逆	農業関係者の参加（ワークショップなどの話し合いへの参加）	中高生の意見を議員さんや、町の運営者が聞く	意見を取り入れる仕組み（アプリの普及）		
議会の意識 ・中学生の議会見学（年1回）社 会見学 ・議会のパブリックビューイング	ワークショップを町民に知らせる（広報など。周知しやすいメディアの活用）	様々な世代間の交流、意見交換	自分たちでやる	意識改革へ	
住民参加 各方面に住民の意識を向ける →議会の視聴	今回のようなWSの定期開催（各分野別でなど）	利根町の情報を毎日更新 詳しく	（自治会の）集金システムを使って意見を集める		
	分野ごとのWS	広報のあり方 →DXを活用 →ホームページ以外はプッシュ型通知	自治会の活性化（個人訪問を含めて）		
役場					
町民					
その他					

④開催風景

